

注3

大学番号：040

[平成24年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

山梨大学 生命環境学部

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山梨大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 課長補佐・志村^{シムラ} 尚^{ナオキ}紀

電話番号 055-220-8071

（夜間） 055-220-8071

F A X 055-220-8799

e-mail kikaku@yamanashi.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- ※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命環境学部

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	52
4. 既設大学等の状況	53
5. 教員組織の状況	54
6. 留意事項等に対する履行状況等	100
7. その他全般的事項	102

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

(2) 大学名

山梨大学

(3) 大学の位置

〒400-8510

山梨県甲府市武田4丁目4番37号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マエダ シュウイチロウ) 前田 秀一郎 (平成21年4月)	(シマダ シンジ) 島田 眞路 (平成27年4月)	任期満了による変更(27) 平成27年4月1日就任
学部長	(ハヤカワ マサユキ) 早川 正幸 (平成24年4月)	(クロサワ ヒロシ) 黒澤 尋 (平成27年4月)	理事就任に伴う変更(27) 平成27年4月1日就任
副学部長 生命工学科学科長	(ウイ サダハル) 宇井 定春 (平成24年4月)	(クスノキ マサミ) 楠木 正巳 (平成26年4月)	任期満了による変更(26) 平成26年4月1日就任
地域食物科学科学科長	(ヤナギダ フジトシ) 柳田 藤寿 (平成24年4月)		
環境科学科学科長	(サカモト ヤスシ) 坂本 康 (平成24年4月)		
副学部長 地域社会システム科学科長	(キタムラ シンイチ) 北村 眞一 (平成24年4月)	(ニシクボ コウジ) 西久保 浩二 (平成26年4月)	任期満了による変更(26) 平成26年4月1日就任

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・
修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合
には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
生命環境学部 生命工学科 学士(生命工学)	4	35	0	140	
地域食物科学科 学士(農学)	4	30	0	120	
環境科学科 学士(環境科学)	4	30	0	120	
地域社会システム学科 学士(社会科学)	4	35	0	140	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

生命工学科		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
対象年度	区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
	A 入学定員	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 35 (-) [-]	1.05倍	一 倍	
	志願者数	170 (-) [-]	0 (-) [-]	140 (-) [-]	0 (-) [-]	165 (-) [-]	0 (-) [-]	115 (-) [-]	0 (-) [-]			
	受験者数	134 (-) [-]	0 (-) [-]	116 (-) [-]	0 (-) [-]	124 (-) [-]	0 (-) [-]	100 (-) [-]	0 (-) [-]			
	合格者数	44 (-) [-]	0 (-) [-]	47 (-) [-]	0 (-) [-]	44 (-) [-]	0 (-) [-]	45 (-) [-]	0 (-) [-]			
	B 入学者数	38 (-) [-]	0 (-) [-]	36 (-) [-]	0 (-) [-]	37 (-) [-]	0 (-) [-]	37 (-) [-]	0 (-) [-]			
	入学定員超過率 B/A	1.08		1.02		1.05		1.05				

地域食物科学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	1.13倍	— 倍	
志願者数	234 (-) [-]	0 (-) [-]	151 (-) [-]	0 (-) [-]	164 (-) [-]	0 (-) [-]	109 (-) [-]	0 (-) [-]			
受験者数	186 (-) [-]	0 (-) [-]	109 (-) [-]	0 (-) [-]	118 (-) [-]	0 (-) [-]	86 (-) [-]	0 (-) [-]			
合格者数	40 (-) [-]	0 (-) [-]	39 (-) [-]	0 (-) [-]	37 (-) [-]	0 (-) [-]	40 (-) [-]	0 (-) [-]			
B 入学者数	35 (-) [-]	0 (-) [-]	33 (-) [-]	0 (-) [-]	34 (-) [-]	0 (-) [-]	34 (-) [-]	0 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.16		1.10		1.13		1.13				

環境科学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	人 30 (-) [-]	1.10倍	— 倍	
志願者数	181 (-) [-]	0 (-) [-]	110 (-) [-]	0 (-) [-]	100 (-) [-]	0 (-) [-]	129 (-) [-]	0 (-) [-]			
受験者数	114 (-) [-]	0 (-) [-]	70 (-) [-]	0 (-) [-]	74 (-) [-]	0 (-) [-]	108 (-) [-]	0 (-) [-]			
合格者数	38 (-) [-]	0 (-) [-]	39 (-) [-]	0 (-) [-]	38 (-) [-]	0 (-) [-]	38 (-) [-]	0 (-) [-]			
B 入学者数	32 (-) [-]	0 (-) [-]	30 (-) [-]	0 (-) [-]	34 (-) [-]	0 (-) [-]	37 (-) [-]	0 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.00		1.13		1.23				

地域社会システム学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 35 (-) [-]	人 0 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 0 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 0 (-) [-]	人 35 (-) [-]	人 0 (-) [-]	1.06倍	— 倍	
志願者数	140 (-) [-]	0 (-) [-]	63 (-) [-]	0 (-) [-]	100 (-) [-]	0 (-) [-]	114 (-) [-]	0 (-) [-]			
受験者数	108 (-) [-]	0 (-) [-]	49 (-) [-]	0 (-) [-]	74 (-) [-]	0 (-) [-]	84 (-) [-]	0 (-) [-]			
合格者数	44 (-) [-]	0 (-) [-]	42 (-) [-]	0 (-) [-]	43 (-) [-]	0 (-) [-]	43 (-) [-]	0 (-) [-]			
B 入学者数	37 (-) [-]	0 (-) [-]	33 (-) [-]	0 (-) [-]	40 (-) [-]	0 (-) [-]	40 (-) [-]	0 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		0.94		1.14		1.14				

(注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。

・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる『留学ビザ』）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

生命工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 38	[-] (-) -	[-] (-) 36	[-] (-) -	[-] (-) 37	[-] (-) -	[-] (-) 37	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 38	[-] (-) -	[-] (-) 36	[-] (-) -	[-] (-) 36	[-] (-) -	
3年次			/		/		[-] (-) 38	[-] (-) -	
4年次	/						/		
計			[-] (-) 38	[-] (-) -	[-] (-) 74	[-] (-) -			

地域食物科学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 35	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -	[-] (-) 34	[-] (-) -	[-] (-) 34	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 35	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -	[-] (-) 34	[-] (-) -	
3年次			/		/		[-] (-) 35	[-] (-) -	[-] (-) 33
4年次	/						/		[-] (-) 35
計			[-] (-) 35	[-] (-) -	[-] (-) 68	[-] (-) -			[-] (-) 102

環境科学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (-) 34	[-] (-) -	[-] (-) 37	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (-) 34	[-] (-) -	
3年次			/		/		[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 30
4年次	/						/		[-] (-) 31
計			[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 62	[-] (-) -			[-] (-) 96

地域社会システム学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 37	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -	[-] (-) 40	[-] (-) -	[-] (-) 40	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 37	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -	[-] (-) 39	[-] (-) -	
3年次			/		/		[-] (-) 37	[-] (-) -	[-] (-) 33
4年次	/						/		[-] (-) 37
計			[-] (-) 37	[-] (-) -	[-] (-) 70	[-] (-) -			[-] (-) 110

(注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
- ・ （ ）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

生命工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	38 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	36 人	1 人	平成25年度	0 人	0 人		2.8 %
			平成26年度	1 人	0 人	その他	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	37 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学	2.7 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	37 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	148 人	2 人					1.4 %

地域食物科学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	35 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	33 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	34 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	34 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	136 人	0 人					0.0 %

環境科学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	32 人	1 人	平成24年度	0 人	0 人	その他	3.1 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	1 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	30 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	34 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	37 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	133 人	1 人					0.8 %

地域社会システム科学

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	37 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	33 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	40 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学	2.5 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	40 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	150 人	1 人					0.7 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生命環境学部 生命工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
【全学共通教育科目】												
全学共通教育科目	生活と健康Ⅰ	1前	1								兼 17 16 20	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	生活と健康Ⅱ	1後	1								兼 16 17 16	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	人間形成論	1前 1-2前		2							兼 13 14 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	大学生のエンプロイアビリティ論 エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1-2前後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1-2前後		2							兼 2 3	担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2							兼 1	
	新聞から世界を読む	1後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	英語A初級 英語AⅠ	1前		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A中級 英語AⅡ	1前		2							兼 9 10	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A上級 英語AⅢ	1前		2							兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B初級 英語BⅠ	1後		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B中級 英語BⅡ	1後		2							兼 10	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B上級 英語BⅢ	1後		2							兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	English for Studying Abroad I TOEFLⅠ	2-3-4前 1-2-3-4前		4							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	English for Studying Abroad II TOEFLⅡ	2-3-4後 1-2-3-4後		4							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	総合英語	2-3-4前後 2前後		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング	2-3-4前後 2前後		2							兼 8 14 12	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング(上級)	2-3-4前後 2前後		2							兼 4	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	英語オーラルコミュニケーション	2-3-4前後 2前後		2							兼 8 5 9 8	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語オーラルコミュニケーション(上級)	2-3-4前後 2前後		2							兼 3	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	e-ラーニングⅠ	1-2-3-4前		1							兼 1	
	e-ラーニングⅡ	1-2-3-4後		1							兼 1	
	e-ラーニングⅢ	2-3-4前 1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2-3-4前 1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-Ⅰ(英語)	1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive15-Ⅱ(英語)	1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25)
Intensive90-Ⅰ(英語)	2-3-4前		6								カリキュラムの整備により廃止(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	Intensive90-II (英語)	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive60-I (英語)	1・2・3・4 前 1・2・3前 2・3・4前		4							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	Intensive60-II (英語)	1・2・3・4 後 1・2・3後 2・3・4後		4							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語初級 I	1前		2							兼7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語初級 II	1後		2							兼7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 I	1前		2							兼3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 II	1後		2							兼3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (総合)	2・3・4前 2前		2							兼6 5	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 II (総合)	2・3・4後 2後		2							兼5 6 5	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語Intensive90-I	2・3・4前 2・3・4前		6							兼2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive90-II	2・3・4後 2・3・4後		6							兼2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive60-I	2・3・4前 2・3前 1・2前		4							兼2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語Intensive60-II	2・3・4後 2・3後 1・2後		4							兼2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語初級 I	1前		2							兼3	
	フランス語初級 II	1後		2							兼3	
	フランス語演習 I	1前		2							兼1	
	フランス語演習 II	1後		2							兼1	
	フランス語中級 I (総合)	2前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (総合)	2後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 I (コミュニケーション)	2前		2							兼2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (コミュニケーション)	2後		2							兼2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習 I	2・3・4前		2							兼1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語中級演習 II	2・3・4後		2							兼1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語Intensive90-I	2・3・4前		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-II	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive60-I	2・3・4前 2・3前 2・3・4前		4 6							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語Intensive60-II	2・3・4後 2・3後 2・3・4後		4 6							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	中国語初級 I	1前		2							兼9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	中国語初級 II	1後		2							兼9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)
	中国語演習 I	1前		2							兼2	
中国語演習 II	1後		2							兼1 2	担当教員の見直しのため(27)	
中国語中級 I (総合)	2前		2							兼3		
中国語中級 I (コミュニケーション)	2前		2							兼3		
中国語中級 II (総合)	2後		2							兼3		
中国語中級 II (コミュニケーション)	2後		2							兼3		
中国語Intensive60-I	2・3・4前		4							兼2		
中国語Intensive60-II	2・3・4後		4							兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 教育 科目	スペイン語初級Ⅰ	1前		2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語中級Ⅰ	2前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ	2後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合A)	2・3前 2前		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合A)	2・3後 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合B)	2・3前 2前		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合B)	2・3後 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後		2									担当教員が退職したため廃止(24)
	国語表現	1・2・3・4前		2								兼1	
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2								兼1	
	考古学について	1・2・3・4前		2								兼1	
	メディア社会における心理 メディアと人間	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	子ども文化 子どもと文化	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2								兼1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2								兼1	
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2								兼1	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2								兼1	
	ものといのち	1・2・3・4後		2								兼2	
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2								兼1	
	芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学の目で見ると	1・2・3・4後		2								兼1	
	日本国憲法	1・2・3・4前		2								兼3 2	担当教員の見直しのため(26)
	日本の近代文学	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本服飾史	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	中国の古典文学を読む	1・2・3・4前		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	サッカー文化学	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	映画論的地域研究入門	1・2・3・4後		2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2								兼1	通常開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	山梨学	1・2・3・4前		2								兼1 g	担当教員の見直しのため(25)
	社会変動と人間	1・2・3・4後		2								兼4	担当教員が退職したため廃止(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2								兼1	
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	資本市場の役割と証券投資 投資と資産形成	1・2・3・4前		2								兼1 15	カリキュラムの整備により科目名称を変更、担当教員の見直し(25)
	ラテンアメリカから見た世界	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	消費生活論	1・2・3・4前		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2								兼14 13 12	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
全 学 共 通 教 育 科 目	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2								兼 6 5 ↓	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)	
	生活設計論	1・2・3・4前		2								兼 1		
	企業概論	1・2・3・4前		2								兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (26)	
	経営分析のためのデータ解析	1・2・3・4前		2								兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) 他の科目で補うことができるため未開講 (25)	
	現代教育政策論 現代社会と教育	1・2・3・4前		2								兼 1 2	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26)	
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2								兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)	
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2								兼 1		
	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
	人間理解の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 2 ↓	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) 担当教員の見直しのため (27)	
	放射線と現代	1・2・3・4後		2								兼 5 4	担当教員の見直しのため (27)	
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								兼 1		
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								兼 1 2	担当教員の見直しのため (25)	
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)	
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (25)	
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								兼 1		
	スポーツジェンダー論 スポーツとジェンダー	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								兼 5 ↓	担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								兼 1		
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								兼 3		
	確率的見方	1・2・3・4後		2								兼 1		
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								兼 1		
	生物学の様子	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)	
	染色の科学	1・2・3・4後		2								兼 4	担当教員が退職したため廃止 (26)	
	自然に対する子どもの眼差し 子どもと自然	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
	材料と技術	1・2・3・4前		2								兼 1		
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								兼 3		
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2								兼 4		
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2			4 5	6 4						担当教員3名退職のため4名の教員を追加 (27) 担当 4名 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可
	地球環境化学とエネルギー 【環】地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2								兼 14 13 8	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)	
これからの機械技術	1・2・3・4前		2								兼 4			
人間と機械	1・2・3・4後		2								兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (25)		
メカトロニクス	1・2・3・4後		2								兼 4 3 4	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)		
地球の見方	1・2・3・4前		2								兼 1			
医工学と現代社会	1・2・3・4前		2			1					兼 1			
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								兼 1			
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								兼 11 10 11	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (25)		
ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2								兼 1			
生命科学と社会	1・2・3・4前		2								兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2							兼 1	
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2							兼 4	担当教員が退職したため廃止 (25)
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2							兼 1	
	数学に対する子どもの眼差し 子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	数学的見方	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (25)
	依存の科学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	発達と障害	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	科学に対する子どもの眼差し	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	地球科学の未解決問題	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	e-ラーニングを用いた自主学习	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	離散数学入門	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	プラスチックの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	魔方陣から現代数学へ エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2							兼 1	
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2							兼 4	
	頭と身体の運動学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	高分子材料化学	1・2・3・4前		2							兼 4	担当教員が退職したため廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	光る分子の科学	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	生命科学演習	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	ウイルスの生命科学 ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	通常開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
	心理学への誘い	1・2・3・4後		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため (26)
	音楽の即興表現	1・2・3・4前		2							兼 1	
	死生学入門	1・2・3・4前		2							兼 1	
	健康科学	1・2・3・4後		2							兼 4	担当教員が退職したため廃止 (26)
	スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2							兼 1	
	感性による造形	1・2・3・4前		2							兼 1	
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2							兼 1	
	現代美術入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	生命倫理	1・2・3・4前		2							兼 1	
	医療の最先端	1・2・3・4前		2							兼 1	
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2							兼 1 +	担当教員の見直しのため (25)
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2							兼 1	
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2							兼 1 +	担当教員の見直しのため (25)
	アウトドアパスーツ I	1・2・3・4前		2							兼 1	
	アウトドアパスーツ II	1・2・3・4後		2							兼 1	
	写真の歴史	1・2・3・4後		2							兼 1	
	健康社会学	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (26)
人間理解の心理学 社会と文化の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 2 +	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
吹奏楽の楽しみ アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)	
球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2							兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 教 共 養 教 育 科 目	運動遊び 運動と遊び	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2							兼 4	担当教員が退職したため廃止 (25)
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (27)
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2							兼 1	
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ピアノを弾こう	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	高山教授の医学的教養講座	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	非行・問題行動の心理学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2							兼 1	
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27)
	日本事情 I	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	日本事情 II	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	アジア・アフリカの人々 アジアの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	ボランティア理論	1・2・3・4前		2							兼 1	
	世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	担当教員が退職したため未開講 (27) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	現代政治の 이슈ー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2							兼 6	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25)
	電子音楽の世界	1・2・3・4後		2							兼 1	
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～ 実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2 2							兼 1 兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (27) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
有用微生物利用学	1・2・3・4前		2			1	3 2		1		担当教員の見直し及び助教から准教授昇任 (27) 担当 1名 平成27年10月 AC教員審査済 判定 可 カリキュラムの整備により科目を追加 (25) 担当 4名 平成24年10月 AC教員審査済 判定 可	
理系のための英語論文の書き方	1・2・3・4後		2		1						カリキュラムの整備により科目を追加 (25) 担当 1名 平成24年10月 AC教員審査済 判定 可	
生命を科学する	1・2・3・4後		2			1		3 4			助教から准教授昇任 (27) 担当 1名 平成27年10月 AC教員審査済 判定 可 カリキュラムの整備により科目を追加 (25) 担当 4名 平成24年10月 AC教員審査済 判定 可	
乳から見える世界いろいろ	1・2・3・4前		2							兼 2	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
自然科学と環境	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
環境問題という問題	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
生活トラブルと法	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	共生科学入門	1前	2				1						兼 3	
	生命環境基礎ゼミ	1前	2				1	2					兼 9	
	生物資源論	2前	2										兼 2	
	生物資源実習	2後	1										兼 6	
	情報処理及び演習	1前	2										兼 2	
	基礎統計学	2前	2										兼 1	
	基礎統計学演習	2前	2										兼 1	
	生命科学概論	2前	2					1						
	食物科学入門	1後		2										兼 2
	環境科学入門	1後		2										兼 1
	経済経営学入門	1前		2										兼 3
	リスクマネジメント概論	2後	2											兼 2
	生命倫理学	1後	2											兼 1
	理系共通科目	基礎数学	1前	2										兼 2
基礎数学演習		1前	2										兼 2	
微積分学		1後	2										兼 1	
専門基礎科目	線形代数学	1後		2									兼 1	
	基礎物理学Ⅰ	2前	2										兼 1	
	基礎物理学Ⅱ	2後		2									兼 1	
	化学概論	1前	2										兼 1	
	基礎化学	1後	2					1						
	生物学概論	1前	2										兼 1	
	基礎生物学	1後	2					1						
	生命科学方法論	3・4前		2									兼 13	
	環境健康科学	3・4後		2									兼 7	
専門発展科目	生物無機化学	2後		2				1						
	生物物理化学	1後		2				1						
	生物分析化学	1後		2					1					
	生物化学工学Ⅰ	2後	2					1						
	生物化学工学Ⅱ	3前		2				1						
	遺伝科学概論	2後	2					4			1		担当教員退職に伴う変更(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可	
	化学実験	2前	2						1		1			
	応用微生物学Ⅰ	2前	2					4					兼 1 担当教員退職に伴う変更(27)	
	応用微生物学Ⅱ	2後		2				4					兼 1 担当教員退職に伴う変更(27)	
	生体触媒学	2後		2				4	1				担当教員退職に伴う変更(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可	
	生体物質論	2前		2				4	1				担当教員退職に伴う変更(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可	
	構造生物学	3後		2					1					
	生物有機化学	2後		2						1				
	細胞培養工学	3後		2					1					
	動物解剖学	2前	2						1					
	発生工学	2後	2						1					
	細胞生理学	2前	2						1					
	遺伝子工学	3前		2						1				
	生物工学実験Ⅰ	3前	3						1	1		4	助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可	
	生物工学実験Ⅱ	3前	3						1	1		1	助教採用(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可	
生物工学実験Ⅲ	3後	3						4	1		1 2	兼 1 担当教員退職に伴う変更及び 助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定 可		
生物工学実験Ⅳ	3後	3						4	2			担当教員退職に伴う変更(27)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 発展 科目	生化学演習	2後	1				1	1		1			担当教員退職に伴う変更(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可	
	ゲノミクス演習	3前	1				1	1		1		兼1		担当教員退職に伴う変更及び 助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可
	発酵工学基礎実習	2後	2				1				1			
	技術英語 I	3前		2			3 5	1					兼1	担当教員退職に伴う変更(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可
	技術英語 II	3後		2			1	4						
	バイオインフォマティクス	3前		2			1							
	微生物育種学	3後		2									兼1	
	発酵工業学	3前		2									兼1	
	食品成分分析学	2前		2									兼1	
	農作物病理学	3後		2									兼1	
	栽培植物育種法	3前		2									兼1	
	食品加工学	2後		2									兼1	
	基礎生化学実習	2後		4									兼14	
	環境毒性学	3後		2									兼1	
	環境保全学	3後		2									兼3	
	地球環境科学	1後		2									兼2	
	経営学総論	4後		2									兼1	
法律学概論	4後		2									兼1		
科学技術政策論	4後		2									兼1		
専門 特別 科目	科学英語演習 I	4前	2				4 6	6 4		3 4			担当教員退職に伴う変更及び 助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可	
	科学英語演習 II	4後	2				4 6	6 4		3 4				担当教員退職に伴う変更及び 助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可
	特別講義 I	4通		1									兼1	
	特別講義 II	4通		1									兼1	
	特別講義 III	4通		1									兼1	
	特別講義 IV	4通		1									兼1	
	インターンシップ I	2・3通		1										
	インターンシップ II	2・3通		1										
生命工学卒業論文	4通	6				4 6	6 4		4 5			担当教員退職に伴う変更及び 助教から准教授に昇任(27) 平成26年10月 AC教員審査済 判定可		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
43	188	0	231	43	229 221 217	0	272 264 260	
				[0]	[41] [-33] [-29]	[0]	[41] [-33] [-29]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	住まいの地方性	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
2	現代日本の政治と政策	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
3	経営分析のためのデータ解析	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
4	ドイツ語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2	2後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
5	こころの健康づくり	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
6	魔方陣から現代数学へ	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
7	ウイルスの生命科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
8	こころと体の障害の理解と支援	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
9	映画論的地域研究入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
10	数学に対する子どもの眼差し	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
11	吹奏楽の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
12	世界近現代史の潮流と日本	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
3	e-ラーニングⅢ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	e-ラーニングⅣ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	Intensive15-I（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	Intensive15-II（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
7	Intensive90-I（英語）	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
8	Intensive90-II（英語）	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
9	フランス語Intensive90-I	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
10	フランス語Intensive90-II	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
11	経営管理（マネジメント）	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
12	人間と機械	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
13	電気とコンピュータ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
14	スポーツ考現学への誘い	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
15	ドイツ語Intensive90-I	6	3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
16	ドイツ語Intensive90-II	6	3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
17	スポーツ映画に見る現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
18	企業概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
19	染色の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
20	高分子材料化学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
21	健康科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
22	健康社会学	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
23	健康なからだ論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
24	実践・実習学—帯花打楽器の特性と実践的編曲法	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
25	パーソナリティ心理学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目の見直しを行ったこと及び全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、当該科目を非開講及び廃止することになった。
当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。
なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	34	=	0.14
設置時の計画の授業科目数の計	231		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<生命環境学部 地域食物科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
【全学共通教育科目】													
全学共通教育科目	生活と健康Ⅰ	1前	1								兼 17 16 20	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	
	生活と健康Ⅱ	1後	1								兼 16 17 16	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	
	人間形成論	1前 1-2前後		2								兼 13 14 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	大学生のエンプロイアビリティ論 エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1-2前後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1-2前後		2								兼 2 3	担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2								兼 1	
	新聞から世界を読む	1後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	英語A初級 英語AⅠ	1前		2								兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A中級 英語AⅡ	1前		2								兼 9 10	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A上級 英語AⅢ	1前		2								兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B初級 英語BⅠ	1後		2								兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B中級 英語BⅡ	1後		2								兼 10	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B上級 英語BⅢ	1後		2								兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	English for Studying Abroad I TOEFLⅠ	2-3-4前 1-2-3-4前後		4								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	English for Studying Abroad II TOEFLⅡ	2-3-4後 1-2-3-4後		4								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	総合英語	2-3-4前後 2前後		2								兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング	2-3-4前後 2前後		2								兼 8 14 12	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング(上級)	2-3-4前後 2前後		2								兼 4	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	英語オーラルコミュニケーション	2-3-4前後 2前後		2								兼 8 5 9 8	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語オーラルコミュニケーション(上級)	2-3-4前後 2前後		2								兼 3	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	e-ラーニングⅠ	1-2-3-4前		1								兼 1	
	e-ラーニングⅡ	1-2-3-4後		1								兼 1	
	e-ラーニングⅢ	2-3-4前 1-2-3-4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2-3-4前 1-2-3-4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-Ⅰ(英語)	1-2-3-4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive15-Ⅱ(英語)	1-2-3-4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25)
Intensive90-Ⅰ(英語)	2-3-4前		6									カリキュラムの整備により廃止(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	Intensive90-II (英語)	2-3-4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive60-I (英語)	1-2-3-4 前 1-2-3前 2-3-4前		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	Intensive60-II (英語)	1-2-3-4 後 1-2-3後 2-3-4後		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語初級 I	1 前		2							兼 7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語初級 II	1 後		2							兼 7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 I	1 前		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 II	1 後		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (総合)	2-3-4前 2前		2							兼 6 5	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 II (総合)	2-3-4後 2後		2							兼 5 6 5	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語Intensive90-I	2-3-4前 2-3-4前		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive90-II	2-3-4後 2-3-4後		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 1-2前		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 1-2後		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語初級 I	1 前		2							兼 3	
	フランス語初級 II	1 後		2							兼 3	
	フランス語演習 I	1 前		2							兼 1	
	フランス語演習 II	1 後		2							兼 1	
	フランス語中級 I (総合)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (総合)	2 後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習 I	2-3-4前		2							兼 1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語中級演習 II	2-3-4後		2							兼 1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語Intensive90-I	2-3-4前		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-II	2-3-4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 2-3-4前		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 2-3-4後		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	中国語初級 I	1 前		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	中国語初級 II	1 後		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)
	中国語演習 I	1 前		2							兼 2	
中国語演習 II	1 後		2							兼 1 2	担当教員の見直しのため(27)	
中国語中級 I (総合)	2 前		2							兼 3		
中国語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 3		
中国語中級 II (総合)	2 後		2							兼 3		
中国語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 3		
中国語Intensive60-I	2-3-4前		4							兼 2		
中国語Intensive60-II	2-3-4後		4							兼 2		

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 教育 科目	語学教育科目	スペイン語初級Ⅰ	1前	2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語初級Ⅱ	1後	2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅰ	1前	2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅱ	1後	2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語中級Ⅰ	2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ	2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合A)	2・3前 2前	2							兼1	カリキュラムの整備により配当次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合A)	2・3後 2後	2							兼1	カリキュラムの整備により配当次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合B)	2・3前 2前	2							兼1	カリキュラムの整備により配当次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合B)	2・3後 2後	2							兼1	カリキュラムの整備により配当次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後	2									担当教員が退職したため廃止(24)
	国語表現	1・2・3・4前	2								兼1	
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後	2								兼1	
	考古学について	1・2・3・4前	2								兼1	
	メディア社会における心理 メディアと人間	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	子ども文化 子どもと文化	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後	2								兼1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後	2								兼1	
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前	2								兼1	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後	2								兼1	
	ものといのち	1・2・3・4後	2								兼2	
	源氏物語を読む	1・2・3・4後	2								兼1	
	芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学の目で見ると	1・2・3・4後	2								兼1	
	日本国憲法	1・2・3・4前	2								兼3 2	担当教員の見直しのため(26)
	日本の近代文学	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本服飾史	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	中国の古典文学を読む	1・2・3・4前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後	2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	サッカー文化学	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	映画論的地域研究入門	1・2・3・4後	2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	住まいの地方性	1・2・3・4前	2								兼1	通常開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	山梨学	1・2・3・4前	2								兼1 g	担当教員の見直しのため(25)
	社会変動と人間	1・2・3・4後	2								兼4	担当教員が退職したため廃止(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前	2								兼1	
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後	2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	資本市場の役割と証券投資 投資と資産形成	1・2・3・4前	2								兼1 15	カリキュラムの整備により科目名称を変更、担当教員の見直し(25)
	ラテンアメリカから見た世界	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	消費生活論	1・2・3・4前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前	2								兼14 13 12	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 教 養 通 教 育 科 目	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2							兼 6 6 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	生活設計論	1・2・3・4前		2							兼1	
	企業概論	1・2・3・4前		2							兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	経営分析のためのデータ解析	1・2・3・4前		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	現代教育政策論 現代社会と教育	1・2・3・4前		2							兼 1 2	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26)
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2							兼1	
	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	人間理解の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 2 ↓	カリキュラムの整備により開講学期を変更(27) 担当教員の見直しのため(27)
	放射線と現代	1・2・3・4後		2							兼 5 4	担当教員の見直しのため(27)
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2							兼1	
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2							兼 1 2	担当教員の見直しのため(25)
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	経営管理(マネジメント)	1・2・3・4後		2							兼4	カリキュラムの整備により廃止(25)
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2							兼1	
	スポーツジェンダー論 スポーツとジェンダー	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	思考の整理術	1・2・3・4前		2							兼 5 ↓	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2							兼1	
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2							兼3	
	確率的見方	1・2・3・4後		2							兼1	
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2							兼1	
	生物学の様子	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	染色の科学	1・2・3・4後		2							兼4	担当教員が退職したため廃止(26)
	自然に対する子どもの眼差し 子どもと自然	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	材料と技術	1・2・3・4前		2							兼1	
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2							兼3	
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2							兼4	
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2							兼 10 9	担当教員の見直しのため(27)
	地球環境化学とエネルギー 【環】地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2		2	4				兼 14 13 8	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2							兼4	
	人間と機械	1・2・3・4後		2							兼4	カリキュラムの整備により廃止(25)
	メカトロニクス	1・2・3・4後		2							兼 4 3 4	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
地球の見方	1・2・3・4前		2							兼1		
医工学と現代社会	1・2・3・4前		2							兼1		
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2							兼1		
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2							兼 11 10 11	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)	
ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2			1						
生命科学と社会	1・2・3・4前		2							兼1		
数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2							兼1		
電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2							兼4	担当教員が退職したため廃止(25)	
水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 教 養 通 教 育 科 目	数学に対する子どもの眼差し 子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	数学的見方	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (25)
	依存の科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	発達と障害	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	科学に対する子どもの眼差し	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	地球科学の未解決問題	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	e-ラーニングを用いた自主学习	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	離散数学入門	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	プラスチックの科学	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	魔方陣から現代数学へ エンタロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2							兼1	
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2							兼4	
	頭と身体の運動学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	高分子材料化学	1・2・3・4前		2							兼4	担当教員が退職したため廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	光る分子の科学	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	生命科学演習	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	ウイルスの生命科学 ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼1	通常開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
	心理学への誘い	1・2・3・4前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため (26)
	音楽の即興表現	1・2・3・4前		2							兼1	
	死生学入門	1・2・3・4前		2							兼1	
	健康科学	1・2・3・4後		2							兼4	担当教員が退職したため廃止 (26)
	スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2							兼1	
	感性による造形	1・2・3・4前		2							兼1	
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	現代美術入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	生命倫理	1・2・3・4前		2							兼1	
	医療の最先端	1・2・3・4前		2							兼1	
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2							兼1 13	担当教員の見直しのため (25)
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2							兼1	
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2							兼1 12	担当教員の見直しのため (25)
	アウトドアパスーツ I	1・2・3・4前		2							兼1	
アウトドアパスーツ II	1・2・3・4後		2							兼1		
写真の歴史	1・2・3・4後		2							兼1		
健康社会学	1・2・3・4後		2							兼4	カリキュラムの整備により廃止 (26)	
人間理解の心理学 社会と文化の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼2 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
吹奏楽の楽しみ アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)	
球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2							兼1		
運動遊び 運動と遊び	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2							兼4	担当教員が退職したため廃止 (25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 教育 科目	健康なからだ論	1・2・3・4前		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (27)
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2							兼 1	
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ピアノを弾こう	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	高山教授の医学的教養講座	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	非行・問題行動の心理学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2							兼 1	
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27)
	日本事情 I	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本事情 II	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	アジア・アフリカの人々 アジアの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	ボランティア理論	1・2・3・4後		2							兼 1	
	世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	担当教員が退職したため未開講 (27) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	現代政治の 이슈	1・2・3・4後		2							兼 1	
	Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2							兼 6	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	電子音楽の世界	1・2・3・4後		2							兼 1	
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～ 実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2 2							兼 1 兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (27) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	有用微生物利用学	1・2・3・4前		2							兼 3 4	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	理系のための英語論文の書き方	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
生命を科学する	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
乳から見える世界いろいろ	1・2・3・4前		2		1	1					カリキュラムの整備により科目を追加(25) 担当 2名 平成25年2月 AC教員審査済 判定 可	
自然科学と環境	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
環境問題という問題	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
生活トラブルと法	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	学部共通科目	共生科学入門	1前	2			1					兼 3	
		生命環境基礎ゼミ	1前	2				3				兼 9	
		生物資源論	2前	2			1	1					
		生物資源実習	2後	1			4	1		1			
		情報処理及び演習	1前	2								兼 2	
		基礎統計学	2前	2								兼 1	
		基礎統計学演習	2前	2								兼 1	
		生命科学概論	2前		2							兼 1	
		食物科学入門	1後	2			1	1					
		環境科学入門	1後		2							兼 1	
		経済経営学入門	1前		2							兼 3	
		リスクマネジメント概論	2後	2								兼 2	
		生命倫理学	1後		2							兼 1	
専門基礎科目	理系共通科目	基礎数学	1前	2								兼 2	
		基礎数学演習	1前	2								兼 2	
		微積分学	1後		2							兼 1	
		線形代数学	1後		2							兼 1	
		基礎物理学Ⅰ	2前		2							兼 1	
		基礎物理学Ⅱ	2後		2							兼 1	
		化学概論	1前	2								兼 1	
		基礎化学	1後	2								兼 1	
		生物学概論	1前	2								兼 1	
		基礎生物学	1後	2								兼 1	
		生命科学方法論	3・4前		2							兼 13	
		環境健康科学	3・4後		2							兼 7	
専門発展科目		ワイン微生物学	2前	ワ2	2		1						
		食品成分分析学	2前		2		1						
		農作物栽培学	2後		2		1						
		食品製造学	2後		2		1						
		食品栄養学	2後		2			1					
		基礎生化学実習	2後	4			4	7		3			
		発酵工業学	3前		2		1						
		微生物育種学	3後		2			1					
		機能成分学	3前		2			1					
		ワイン品質評価学	3後	ワ2	2		1						
		植物生理学	3前	ワ2	2			1					
		農作物病理学	3後		2			1					
		農作物生産学	2後		2			1					
		栽培植物育種法	3前		2		1						
		食品加工学	2後		2		1						
		食品保蔵学	3前		2			1					
		野菜園芸学	3後		1							兼 1	
		野菜栽培実習	3後		2		1	1					
		生物化学工学Ⅱ	3前		2							兼 1	
		応用微生物学Ⅰ	2前		2							兼 1	
		生体物質論	2前		2							兼 1	
		生体触媒学	2後 2前		2							兼 1	講義室調整により開講学期を変更(24)
		発生工学	2後		2							兼 1	
		構造生物学	3後		2							兼 1	
		細胞培養工学	3後		2							兼 1	
		環境保全学	3後		2							兼 3	
		地球環境科学	1後		2							兼 2	
		環境毒性学	3後		2							兼 1	
		科学技術政策論	2後		2							兼 1	
		経営学総論	2後		2							兼 1	
マーケティングと消費者行動	2後		2							兼 2			
国際経営論	3後		2							兼 1			
ワイン製造科学実習	3後	ワ2	2		2	1		2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 発展 科目	ブドウ栽培学実習	3後	ワ2				2					
	醸造微生物実験	3前	2			1	1		1			
	機能成分分析実験	3後	2			1	1		1			
	果実遺伝子実験	3前	2				2					
	農作物生産学実験	3前	2			1	1					
	食品製造学実験	3後	2			1	1					
	栄養学実験	3後	2				1		1			
	ワイン科学Ⅰ	1後	ワ2			2	4		2	1		教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24)
	ワイン科学Ⅱ	2前	ワ2			2	4		2	1		教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24)
	ワイン科学ゼミⅠ	2後	ワ2			1	1		1			教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24)
ワイン科学ゼミⅡ	3前	ワ2			1	1		1				
専門 特 別 科 目	科学英語演習Ⅰ	4前	2			4	7		3			
	科学英語演習Ⅱ	4後	2			4	7		3			
	インターンシップⅠ	2・3通	ワ1	1								
	インターンシップⅡ	2・3通	ワ1	1								
	職業指導Ⅰ	2・3前		2							兼	1
	職業指導Ⅱ	2・3前		2							兼	1
	農業科教育法Ⅰ	2・3後		2							兼	1
	農業科教育法Ⅱ	2・3後		2							兼	1
	特別講義Ⅰ	4前		1							兼	1
	特別講義Ⅱ	4前		1							兼	1
	特別講義Ⅲ	3前	1								兼	1
	特別講義Ⅳ	3後	1								兼	1
地域食物科学卒業論文	4通	6			4	7		3				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	198	0	233	35	239 231 227	0	274 266 262	
				[0]	[41] [-33] [-29]	[0]	[41] [-33] [-29]	
(46)	(192)		(238)	(46)	(233) (225) (221)	(0)	(279) (271) (267)	ワイン科学特別コース
				[(0)]	[(41)] [-(33)] [-(29)]	[(0)]	[(41)] [-(33)] [-(29)]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	住まいの地方性	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
2	現代日本の政治と政策	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
3	経営分析のためのデータ解析	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
4	ドイツ語中級Ⅱ (コミュニケーション)	2	2後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
5	こころの健康づくり	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
6	魔方陣から現代数学へ	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
7	ウイルスの生命科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
8	こころと体の障害の理解と支援	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
9	映画論的地域研究入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
10	数学に対する子どもの眼差し	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
11	吹奏楽の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
12	世界近現代史の潮流と日本	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
3	e-ラーニングⅢ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	e-ラーニングⅣ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	Intensive15-I (英語)	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	Intensive15-II (英語)	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
7	Intensive90-I (英語)	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
8	Intensive90-II (英語)	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
9	フランス語Intensive90-I	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
10	フランス語Intensive90-II	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
11	経営管理 (マネジメント)	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
12	人間と機械	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
13	電気とコンピュータ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
14	スポーツ考現学への誘い	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
15	ドイツ語Intensive90-I	6	3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
16	ドイツ語Intensive90-II	6	3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
17	スポーツ映画に見る現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
18	企業概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
19	染色の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
20	高分子材料化学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
21	健康科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
22	健康社会学	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
23	健康なからだ論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
24	実践・実習学—帯花打楽器の特性と実践的編曲法	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
25	パーソナリティ心理学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目の見直しを行ったこと及び全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、当該科目を非開講及び廃止することになった。
当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。
なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{34}{233(238)} = 0.14$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<生命環境学部 環境科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
【全学共通教育科目】												
全学共通教育科目	生活と健康Ⅰ	1前	1								兼 17 16 20	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	生活と健康Ⅱ	1後	1								兼 16 17 16	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	人間形成論	1前 1-2前		2							兼 13 14 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	大学生のエンプロイアビリティ論 エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1-2前後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1-2前後		2							兼 2 3	担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2							兼 1	
	新聞から世界を読む	1後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	英語A初級 英語AⅠ	1前		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A中級 英語AⅡ	1前		2							兼 9 10	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A上級 英語AⅢ	1前		2							兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B初級 英語BⅠ	1後		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B中級 英語BⅡ	1後		2							兼 10	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B上級 英語BⅢ	1後		2							兼 5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	English for Studying Abroad I TOEFLⅠ	2-3-4前 1-2-3-4前		4							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	English for Studying Abroad II TOEFLⅡ	2-3-4後 1-2-3-4後		4							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	総合英語	2-3-4前後 2前後		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング	2-3-4前後 2前後		2							兼 8 14 12	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング(上級)	2-3-4前後 2前後		2							兼 4	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	英語オーラルコミュニケーション	2-3-4前後 2前後		2							兼 8 5 9 8	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語オーラルコミュニケーション(上級)	2-3-4前後 2前後		2							兼 3	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	e-ラーニングⅠ	1-2-3-4前		1							兼 1	
	e-ラーニングⅡ	1-2-3-4後		1							兼 1	
	e-ラーニングⅢ	2-3-4前 1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2-3-4前 1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-Ⅰ(英語)	1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive15-Ⅱ(英語)	1-2-3-4前		1								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive90-Ⅰ(英語)	2-3-4前		6								カリキュラムの整備により廃止(25)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	Intensive90-II (英語)	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive60-I (英語)	1・2・3・4 前 1+2+3前 2+3+4前		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	Intensive60-II (英語)	1・2・3・4 後 1+2+3後 2+3+4後		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語初級 I	1 前		2							兼 7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語初級 II	1 後		2							兼 7 9	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 I	1 前		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語演習 II	1 後		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (総合)	2・3・4前 2前		2							兼 6 5	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 II (総合)	2・3・4後 2後		2							兼 5 6 5	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語Intensive90-I	2・3・4前 2+3+4前		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive90-II	2・3・4後 2+3+4後		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更(25)
	ドイツ語Intensive60-I	2・3・4前 2+3前 1+2前		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語Intensive60-II	2・3・4後 2+3後 1+2後		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語初級 I	1 前		2							兼 3	
	フランス語初級 II	1 後		2							兼 3	
	フランス語演習 I	1 前		2							兼 1	
	フランス語演習 II	1 後		2							兼 1	
	フランス語中級 I (総合)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (総合)	2 後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習 I	2・3・4前		2							兼 1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語中級演習 II	2・3・4後		2							兼 1	担当教員の見直しのため(26)
	フランス語Intensive90-I	2・3・4前		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-II	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive60-I	2・3・4前 2+3前 2+3+4前		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語Intensive60-II	2・3・4後 2+3後 2+3+4後		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 前年度単位数記載ミスのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	中国語初級 I	1 前		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	中国語初級 II	1 後		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)
	中国語演習 I	1 前		2							兼 2	
	中国語演習 II	1 後		2							兼 1 2	担当教員の見直しのため(27)
中国語中級 I (総合)	2 前		2							兼 3		
中国語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 3		
中国語中級 II (総合)	2 後		2							兼 3		
中国語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 3		
中国語Intensive60-I	2・3・4前		4							兼 2		
中国語Intensive60-II	2・3・4後		4							兼 2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 教育 科目	語学教育科目	スペイン語初級Ⅰ	1前	2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語初級Ⅱ	1後	2							兼4 3 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅰ	1前	2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅱ	1後	2							兼2 ↓	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語中級Ⅰ	2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ	2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合A)	2・3前 2前	2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合A)	2・3後 2後	2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合B)	2・3前 2前	2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合B)	2・3後 2後	2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後	2									担当教員が退職したため廃止(24)
	国語表現	1・2・3・4前	2								兼1	
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後	2								兼1	
	考古学について	1・2・3・4前	2								兼1	
	メディア社会における心理 メディアと人間	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	子ども文化 子どもと文化	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後	2								兼1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後	2								兼1	
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前	2								兼1	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後	2								兼1	
	ものといのち	1・2・3・4後	2			1					兼2	
	源氏物語を読む	1・2・3・4後	2								兼1	
	芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学の目で見ると	1・2・3・4後	2								兼1	
	日本国憲法	1・2・3・4前	2								兼3 2	担当教員の見直しのため(26)
	日本の近代文学	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本服飾史	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	中国の古典文学を読む	1・2・3・4前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後	2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	サッカー文化学	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	映画論的地域研究入門	1・2・3・4後	2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	住まいの地方性	1・2・3・4前	2								兼1	通常開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	山梨学	1・2・3・4前	2								兼1 g	担当教員の見直しのため(25)
	社会変動と人間	1・2・3・4後	2								兼4	担当教員が退職したため廃止(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前	2								兼1	
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後	2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	資本市場の役割と証券投資 投資と資産形成	1・2・3・4前	2								兼1 15	カリキュラムの整備により科目名称を変更、担当教員の見直し(25)
	ラテンアメリカから見た世界	1・2・3・4後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	消費生活論	1・2・3・4前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前	2								兼14 13 12	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
全 学 教 養 通 教 育 科 目	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2								6 兼 6 ↓	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	生活設計論	1・2・3・4前		2								兼1	
	企業概論	1・2・3・4前		2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	経営分析のためのデータ解析	1・2・3・4前		2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) 他の科目で補うことができるため未開講(25)
	現代教育政策論 現代社会と教育	1・2・3・4前		2								兼 1 2	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 担当教員の見直しのため(26)
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2								兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26)
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2								兼1	
	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	人間理解の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 2 ↓	カリキュラムの整備により開講学期を変更(27) 担当教員の見直しのため(27)
	放射線と現代	1・2・3・4後		2		1						兼 4 3	担当教員の見直しのため(27)
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								兼1	
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								兼 1 2	担当教員の見直しのため(25)
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	経営管理(マネジメント)	1・2・3・4後		2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(25)
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								兼1	
	スポーツジェンダー論 スポーツとジェンダー	1・2・3・4前		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								兼 5 ↓	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								兼1	
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								兼3	
	確率的見方	1・2・3・4後		2								兼1	
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								兼1	
	生物学の様子	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	染色の科学	1・2・3・4後		2								兼4	担当教員が退職したため廃止(26)
	自然に対する子どもの眼差し 子どもと自然	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	材料と技術	1・2・3・4前		2								兼1	
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								兼3	
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2								兼4	
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2								兼 10 9	担当教員の見直しのため(27)
	地球環境化学とエネルギー 【環】地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2								兼 14 13 8	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2								兼4	
	人間と機械	1・2・3・4後		2								兼4	カリキュラムの整備により廃止(25)
	メカトロニクス	1・2・3・4後		2								兼 4 3 4	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
地球の見方	1・2・3・4前		2								兼1		
医工学と現代社会	1・2・3・4前		2								兼1		
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								兼1		
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								兼 11 10 11	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)	
ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2								兼1		
生命科学と社会	1・2・3・4前		2								兼1		
数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2								兼1		
電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2								兼4	担当教員が退職したため廃止(25)	
水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 教 養 通 教 育 科 目	数学に対する子どもの眼差し 子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	数学的見方	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(25)
	依存の科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2			1					
	発達と障害	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	科学に対する子どもの眼差し	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	地球科学の未解決問題	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	e-ラーニングを用いた自主学习	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	離散数学入門	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	プラスチックの科学	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	魔方陣から現代数学へ エンタロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2							兼1	
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2							兼4	
	頭と身体の運動学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	高分子材料化学	1・2・3・4前		2							兼4	担当教員が退職したため廃止(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	光る分子の科学	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	生命科学演習	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	ウイルスの生命科学 ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼1	通常開講(27) 他の科目で補うことができるため未開講(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
	心理学への誘い	1・2・3・4前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(26)
	音楽の即興表現	1・2・3・4前		2							兼1	
	死生学入門	1・2・3・4前		2							兼1	
	健康科学	1・2・3・4後		2							兼4	担当教員が退職したため廃止(26)
	スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2							兼1	
	感性による造形	1・2・3・4前		2							兼1	
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	現代美術入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	生命倫理	1・2・3・4前		2							兼1	
	医療の最先端	1・2・3・4前		2							兼1	
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2							兼1 13	担当教員の見直しのため(25)
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2							兼1	
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2							兼1 12	担当教員の見直しのため(25)
アウトドアパスーツ I	1・2・3・4前		2							兼1		
アウトドアパスーツ II	1・2・3・4後		2							兼1		
写真の歴史	1・2・3・4後		2							兼1		
健康社会学	1・2・3・4後		2							兼4	カリキュラムの整備により廃止(26)	
人間理解の心理学 社会と文化の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼2 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
吹奏楽の楽しみ アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補うことができるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を変更(24)	
球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2							兼1		
運動遊び 運動と遊び	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)	
スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2							兼4	担当教員が退職したため廃止(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	健康なからだ論	1・2・3・4前		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (27)
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2							兼 1	
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ピアノを弾こう	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	高山教授の医学的教養講座	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	非行・問題行動の心理学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2							兼 1	
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27)
	日本事情 I	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本事情 II	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	アジア・アフリカの人々 アジアの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	ボランティア理論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	
	世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	担当教員が退職したため未開講 (27) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26)
	現代政治の 이슈ー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2							兼 6	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	電子音楽の世界	1・2・3・4後		2							兼 1	
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～ 実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2 2							兼 1 兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (27) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	有用微生物利用学	1・2・3・4前		2							兼 3 4	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	理系のための英語論文の書き方	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
生命を科学する	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
乳から見える世界いろいろ	1・2・3・4前		2							兼 2	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
自然科学と環境	1・2・3・4後		2			3 2	1	1			講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可 カリキュラムの整備により科目を追加(25) 担当 4名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可	
環境問題という問題	1・2・3・4前		2		1						カリキュラムの整備により科目を追加(25) 担当 1名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可	
生活トラブルと法	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	共生科学入門	1前	2			1					兼 3	
	生命環境基礎ゼミ	1前	2			1	1		1		兼 9	
	生物資源論	2前	2								兼 2	
	生物資源実習	2後	1								兼 6	
	情報処理及び演習	1前	2						1		兼 1	
	基礎統計学	2前	2								兼 1	
	基礎統計学演習	2前	2								兼 1	
	生命科学概論	2前		2							兼 1	
	食物科学入門	1後		2							兼 2	
	環境科学入門	1後	2			1						
	経済経営学入門	1前		2							兼 3	
	リスクマネジメント概論	2後	2			1					兼 1	
生命倫理学	1後		2							兼 1		
専門基礎科目	基礎数学	1前	2								兼 2	
	基礎数学演習	1前	2								兼 2	
	微積分学	1後	2				1					
	線形代数学	1後	2				1					
	基礎物理学Ⅰ	2前	2			1						
	基礎物理学Ⅱ	2後		2			1					
	化学概論	1前	2				1	1				講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可
	基礎化学	1後		2							兼 1	
	生物学概論	1前	2			1						
	基礎生物学	1後		2							兼 1	
生命科学方法論	3・4前		2							兼 13		
環境健康科学	3・4後		2							兼 7		
専門発展科目	地球環境科学	1後	2				2					
	生態学	1後		2			1					
	気象学	2前		2			1					
	微生物生態学	2前		2					1			
	環境情報学及び実習	2前		2					1			
	水循環学	2前		2			1					
	水圏科学	2後		2			1					
	土壌科学	2後		2		1	1					
	大気環境科学	2後		2			1					
	システムダイナミクス及び実習	2後		2		1						
	環境分析化学Ⅰ	3前		2			1	1				講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可
	環境分析化学Ⅱ	3前		2		1						
	多様性生物論	3前		2			1					
	環境影響評価	3後		2		1						
	環境モデリング及び実習	3後		2			1					
	環境保全学	3後		2		2			1			
	環境化学	3後		2			1	1				講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可
資源循環型ものづくり実習	1前		2		1							
環境科学基礎実験Ⅰ	2前	2			1	2	1	1			講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可	
環境科学基礎実験Ⅱ	2後	2			2	4		2				
環境計測実習	3前		2		1	3						
環境調査実習	3前		2		1	1		1				
地圏科学実習	3前		2		1	1		2				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 発展 科目	環境アセスメント実習	3後		2		1	2 ↓	4	1		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕
	環境マネジメント実習	3後		2		2	1		2		
	環境毒性学	3後		2						兼1	
	植物生態学	3後		2						兼1	
	バイオインフォマティクス	3前		2						兼1	
	遺伝子工学	3前		2						兼1	
	発酵工業学	3前		2						兼1	
	経営学総論	1後		2						兼1	
	データサイエンス及び演習	2後		2						兼1	
	科学技術政策論	2後		2						兼1	
	エネルギーマネジメント	2後		2						兼1	
	環境政治論	2後		2						兼1	
	環境経済政策論	2後		2						兼1	
	社会数理システム	3後		2						兼1	
環境法	3後		2						兼1		
専門 特別 科目	科学英語演習Ⅰ	3前	1			5	7 ↓ 6	4	3		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕
	科学英語演習Ⅱ	3後	1			5	7 ↓ 6	4	3		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕
	科学英語演習Ⅲ	4前	1			5	7 ↓ 6	4	3		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕
	科学英語演習Ⅳ	4後	1			5	7 ↓ 6	4	3		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕
	特別講義Ⅰ	3・4前		1						兼1	
	特別講義Ⅱ	3・4前		1						兼1	
	特別講義Ⅲ	3・4前		1						兼2	
	特別講義Ⅳ	3・4前		1						兼1	
	インターンシップⅠ	2・3通		1							履修時期弾力化のため配当年次を追加(24)
	インターンシップⅡ	2・3通		1							履修時期弾力化のため配当年次を追加(24)
	環境科学卒業論文	4通	6			5	7 ↓ 6	4	3		講師から准教授に昇任(26) 〔平成26年2月 AC教員審査済 判定可〕

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	198	0	230	32	239 234 227	0	271 263 250	
				[0]	[41] [33] [29]	[0]	[41] [33] [29]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	住まいの地方性	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
2	現代日本の政治と政策	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
3	経営分析のためのデータ解析	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
4	ドイツ語中級Ⅱ (コミュニケーション)	2	2後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
5	こころの健康づくり	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
6	魔方陣から現代数学へ	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
7	ウイルスの生命科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
8	こころと体の障害の理解と支援	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
9	映画論的地域研究入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
10	数学に対する子どもの眼差し	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
11	吹奏楽の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
12	世界近現代史の潮流と日本	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
3	e-ラーニングⅢ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	e-ラーニングⅣ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	Intensive15-I (英語)	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	Intensive15-II (英語)	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
7	Intensive90-I (英語)	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
8	Intensive90-II (英語)	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
9	フランス語Intensive90-I	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
10	フランス語Intensive90-II	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
11	経営管理 (マネジメント)	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
12	人間と機械	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
13	電気とコンピュータ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
14	スポーツ考現学への誘い	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
15	ドイツ語Intensive90-I	6	3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
16	ドイツ語Intensive90-II	6	3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
17	スポーツ映画に見る現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
18	企業概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
19	染色の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
20	高分子材料化学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
21	健康科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
22	健康社会学	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
23	健康なからだ論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
24	実用・実習学—帯花打楽器の特性と実践的編曲法	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
25	パーソナリティ心理学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目の見直しを行ったこと及び全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、当該科目を非開講及び廃止することになった。
当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。
なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	34	=	0.14
設置時の計画の授業科目数の計	230		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<生命環境学部 地域社会システム学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手	
【全学共通教育科目】													
全学共通教育科目	生活と健康Ⅰ	1前	1								兼17 兼16 兼20	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	
	生活と健康Ⅱ	1後	1								兼16 兼17 兼16	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	
	人間形成論	1前 1→2前		2								兼13 兼14 兼1 兼13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	大学生のエンプロイアビリティ論 エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1→2前後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1→2前後		2								兼2 兼3	担当教員の見直しのため(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2								兼1	
	新聞から世界を読む	1後		2			1					兼1	退職による教員変更(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	英語A初級 英語AⅠ	1前		2								兼7 兼8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A中級 英語AⅡ	1前		2								兼9 兼10	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語A上級 英語AⅢ	1前		2								兼5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B初級 英語BⅠ	1後		2								兼7 兼8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B中級 英語BⅡ	1後		2								兼10	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	英語B上級 英語BⅢ	1後		2								兼5	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)
	English for Studying AbroadⅠ TOEFLⅠ	2・3・4前 1→2・3・4前		4								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	English for Studying AbroadⅡ TOEFLⅡ	2・3・4後 1→2・3・4後		4								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	総合英語	2・3・4前後 2前後		2								兼9 兼12 兼13	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング	2・3・4前後 2前後		2								兼8 兼14 兼12	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語リーディング・ライティング(上級)	2・3・4前後 2前後		2								兼4	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	英語オーラルコミュニケーション	2・3・4前後 2前後		2								兼8 兼5 兼9 兼8	担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	英語オーラルコミュニケーション(上級)	2・3・4前後 2前後		2								兼3	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	e-ラーニングⅠ	1・2・3・4前		1								兼1	
	e-ラーニングⅡ	1・2・3・4後		1								兼1	
	e-ラーニングⅢ	2・3・4前 1→2・3・4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2・3・4前 1→2・3・4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-I(英語)	1→2・3・4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive15-II(英語)	1→2・3・4前		1									カリキュラムの整備により廃止(25)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	Intensive90-I (英語)-	2-3-4前		6								カリキュラムの整備により廃止 (25)
	Intensive90-II (英語)-	2-3-4後		6								カリキュラムの整備により廃止 (25)
	Intensive60-I (英語)	1-2-3-4 前 1-2-3前 2-3-4前		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	Intensive60-II (英語)	1-2-3-4 後 1-2-3後 2-3-4後		4							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	ドイツ語初級 I	1 前		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語初級 II	1 後		2							兼 7 8	担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語演習 I	1 前		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語演習 II	1 後		2							兼 3 2	担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語中級 I (総合)	2-3-4前 2前		2							兼 6 5	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語中級 II (総合)	2-3-4後 2後		2							兼 5 6 5	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26)
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	ドイツ語Intensive90-I	3-4前 2-3-4前		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により開講年次変更 (25)
	ドイツ語Intensive90-II	3-4後 2-3-4後		6							兼 2	カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により開講年次変更 (25)
	ドイツ語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 1-2前		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	ドイツ語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 1-2後		4							兼 2	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	フランス語初級 I	1 前		2							兼 3	
	フランス語初級 II	1 後		2							兼 3	
	フランス語演習 I	1 前		2							兼 1	
	フランス語演習 II	1 後		2							兼 1	
	フランス語中級 I (総合)	2 前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語中級 II (総合)	2 後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語中級演習 I	2-3-4前		2							兼 1	担当教員の見直しのため (26)
	フランス語中級演習 II	2-3-4後		2							兼 1	担当教員の見直しのため (26)
	フランス語Intensive90-I	2-3-4前		6								カリキュラムの整備により廃止 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語Intensive90-II	2-3-4後		6								カリキュラムの整備により廃止 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	フランス語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 2-3-4前		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) 前年度単位数記載ミスのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	フランス語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 2-3-4後		4 6							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (27) カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) 前年度単位数記載ミスのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	中国語初級 I	1 前		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)
	中国語初級 II	1 後		2							兼 9 12 13	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (25)
	中国語演習 I	1 前		2							兼 2	
	中国語演習 II	1 後		2							兼 1 2	担当教員の見直しのため (27)
	中国語中級 I (総合)	2 前		2							兼 3	
	中国語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							兼 3	
中国語中級 II (総合)	2 後		2							兼 3		
中国語中級 II (コミュニケーション)	2 後		2							兼 3		
中国語Intensive60-I	2-3-4前		4							兼 2		
中国語Intensive60-II	2-3-4後		4							兼 2		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
全 学 共 通 教 育 科 目	スペイン語初級Ⅰ	1前		2							兼 4 3 1	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2							兼 4 3 1	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	スペイン語中級Ⅰ	2前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	スペイン語中級Ⅱ	2後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	スペイン語中級Ⅰ (総合A)	2・3前 2後		2							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	スペイン語中級Ⅱ (総合A)	2・3後 2後		2							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	スペイン語中級Ⅰ (総合B)	2・3前 2後		2							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	スペイン語中級Ⅱ (総合B)	2・3後 2後		2							兼 1	カリキュラムの整備により配当年次を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後		2									担当教員が退職したため廃止 (24)
	国語表現	1・2・3・4前		2								兼 1	
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2								兼 1	
	考古学について	1・2・3・4前		2								兼 1	
	メディア社会における心理 メディアと人間	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	子ども文化 子どもと文化	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2								兼 1	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2								兼 1	
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2								兼 1	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2								兼 1	
	ものといのち	1・2・3・4後		2								兼 2	
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2								兼 1	
	芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	経済学の目で見ると	1・2・3・4後		2								兼 1	
	日本国憲法	1・2・3・4後		2			1					兼 2 1	担当教員の見直しのため (26)
	日本の近代文学	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	日本服飾史	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	中国の古典文学を読む	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	サッカー文化学	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	映画論的地域研究入門	1・2・3・4後		2								兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2								兼 1	通常開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (25)
	山梨学	1・2・3・4前		2								兼 1 8	担当教員の見直しのため (25)
社会変動と人間	1・2・3・4後		2								兼 1	担当教員が退職したため廃止 (24)	
特別支援教育総論	1・2・3・4前		2								兼 1		
現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2			1						他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) 他の科目で補うことができるため未開講 (25)	
資本市場の役割と証券投資 投資と資産形成	1・2・3・4前		2								兼 1 15	カリキュラムの整備により科目名称を変更、担当教員の見直し (25)	
ラテンアメリカから見た世界	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)	
消費生活論	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)	
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2								兼 14 13 12	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	科学・デザイン・コミュニケーション	1-2-3-4前		2							兼 6 5 1	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)
	生活設計論	1-2-3-4前		2							兼 1	
	企業概論	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	経営分析のためのデータ解析	1-2-3-4前		2		1					兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) 他の科目で補うことができるため未開講 (25)
	現代教育政策論 現代社会と教育	1-2-3-4前		2							兼 1 2	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26)
	こころと体の障害の理解と支援	1-2-3-4後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)
	環境政策の展開	1-2-3-4前		2			1	1				講師から准教授に昇任 (26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定 可
	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	人間理解の心理学	1-2-3-4前 1-2-3-4後		2							兼 2 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) 担当教員の見直しのため (27)
	放射線と現代	1-2-3-4後		2		1					兼 4 3	担当教員の見直しのため (27)
	教育問題から見た現代社会	1-2-3-4後		2							兼 1	
	保育・子育ての現在	1-2-3-4後		2							兼 1 2	担当教員の見直しのため (25)
	哲学のさまざまな問題	1-2-3-4前 1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	経営管理 (マネジメント)	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (25)
	子どもとジェンダー	1-2-3-4前		2							兼 1	
	スポーツジェンダー論 スポーツとジェンダー	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	思考の整理術	1-2-3-4前		2							兼 5 1	担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	科学技術史入門	1-2-3-4後		2							兼 1	
	天文学への誘い	1-2-3-4後		2							兼 3	
	確率的見方	1-2-3-4後		2							兼 1	
	ヒトに至る生命の歴史	1-2-3-4前		2							兼 1	
	生物学の様子	1-2-3-4前 1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	染色の科学	1-2-3-4後		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (26)
	自然に対する子どもの眼差し 子どもと自然	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	材料と技術	1-2-3-4前		2							兼 1	
	家庭の中のエレクトロニクス	1-2-3-4前		2							兼 3	
	人間とコンピュータ	1-2-3-4後		2							兼 4	
	現代生活とバイオテクノロジー	1-2-3-4後		2							兼 10 9	担当教員の見直しのため (27)
	地球環境化学とエネルギー 【環】地球環境化学とエネルギー	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	ワインと宝石	1-2-3-4前		2							兼 14 13 8	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26)
	これからの機械技術	1-2-3-4前		2							兼 4	
	人間と機械	1-2-3-4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止 (25)
	メカトロニクス	1-2-3-4後		2							兼 4 3 4	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	地球の見方	1-2-3-4前		2							兼 1	
医工学と現代社会	1-2-3-4前		2							兼 1		
一般相対性理論への招待	1-2-3-4後		2							兼 1		
クリスタルサイエンス	1-2-3-4後		2							兼 11 10 11	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (25)	
ワイン製造及び体験実習	1-2-3-4前		2							兼 1		
生命科学と社会	1-2-3-4前		2							兼 1		
数理の発想でみる自然・社会・人間	1-2-3-4前		2							兼 1		
電気とコンピュータ	1-2-3-4後		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (25)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	水圏植物の生物学	1-2-3-4後		2							兼 1	
	数学に対する子どもの眼差し 子どもと事象の数理	1-2-3-4後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	数学的見方	1-2-3-4後 1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (25)
	依存の科学	1-2-3-4前		2							兼 1	
	ガイア仮説と地球システム科学	1-2-3-4前		2							兼 1	
	発達と障害	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	幼児期における特別支援教育	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	科学に対する子どもの眼差し	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	地球科学の未解決問題	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	e-ラーニングを用いた自主学習	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	離散数学入門	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	プラスチックの科学	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	魔方陣から現代数学へ エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1-2-3-4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1-2-3-4前		2							兼 1	
	自然災害と都市防災	1-2-3-4前		2							兼 4	
	頭と身体の運動学	1-2-3-4後 1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	高分子材料化学	1-2-3-4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	光る分子の科学	1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	生命科学演習	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	ウイルスの生命科学 ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1-2-3-4前 1-2-3-4後		2							兼 1	通常開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
	心理学への誘い	1-2-3-4後		2							兼 2 +	担当教員の見直しのため (26)
	音楽の即興表現	1-2-3-4前		2							兼 1	
	死生学入門	1-2-3-4前		2							兼 1	
	健康科学	1-2-3-4後		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (26)
	スポーツマッサージ入門	1-2-3-4前		2							兼 1	
	感性による造形	1-2-3-4前		2							兼 1	
	スポーツとダイエットの科学	1-2-3-4前		2							兼 1	
	現代美術入門	1-2-3-4後 1-2-3-4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的デザイン	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)
	生命倫理	1-2-3-4前		2							兼 1	
	医療の最先端	1-2-3-4前		2							兼 1	
	社会における看護と介護	1-2-3-4後		2							兼 1 +	担当教員の見直しのため (25)
	社会の中の医療・医学	1-2-3-4後		2							兼 1	
	人体の生命科学	1-2-3-4前		2							兼 1 +	担当教員の見直しのため (25)
	アウトドアパースーツ I	1-2-3-4前		2							兼 1	
	アウトドアパースーツ II	1-2-3-4後		2							兼 1	
写真の歴史	1-2-3-4後		2							兼 1		
健康社会学	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26)	
人間理解の心理学 社会と文化の心理学	1-2-3-4前 1-2-3-4後		2							兼 2 +	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26) 担当教員の見直しのため (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
吹奏楽の楽しみ アンサンブルの楽しみ	1-2-3-4後		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)	
球技スポーツの魅力	1-2-3-4前		2							兼 1		
運動遊び 運動と遊び	1-2-3-4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
スポーツ考現学への誘い	1-2-3-4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (25)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	健康なからだ論	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2							兼 1	担当教員が退職したため廃止 (27)
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2							兼 1	他の科目で補うことができるため未開講 (27) 他の科目で補うことができるため未開講 (26)
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2							兼 1	
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ピアノを弾こう	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2							兼 1	
	高山教授の医学的教養講座	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	非行・問題行動の心理学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2							兼 1	
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27)
	日本事情 I	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	日本事情 II	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	アジア・アフリカの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	アジアの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	ボランティア理論	1・2・3・4後		2							兼 1	
	世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2			1					担当教員が退職したため未開講 (27) カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	現代政治の 이슈	1・2・3・4後		2			1					
	Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2							兼 6	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25)
	電子音楽の世界	1・2・3・4後		2							兼 1	
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性 と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	有用微生物利用学	1・2・3・4前		2							兼 3 4	担当教員の見直しのため (27) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	理系のための英語論文の書き方	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	生命を科学する	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	乳から見える世界いろいろ	1・2・3・4前		2							兼 2	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
自然科学と環境	1・2・3・4後		2							兼 4	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
環境問題という問題	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	
生活トラブルと法	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (25)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	共生科学入門	1前	2				1					兼 3	
	生命環境基礎ゼミ	1前	2			1	2 ↓	↓				兼 9	講師から准教授に昇任(26) 担当 1名 平成26年2月 AC教員審査済 判定可
	生物資源論	2前	2									兼 2	
	生物資源実習	2後	1									兼 6	
	情報処理及び演習	1前	2				1					兼 1	
	基礎統計学	2前	2				↓					兼 1	担当教員退職に伴う変更(27)
	基礎統計学演習	2前	2				↓					兼 1	担当教員退職に伴う変更(27)
	生命科学概論	2前		2								兼 1	
	食物科学入門	1後		2								兼 2	
	環境科学入門	1後		2								兼 1	
	経済経営学入門	1前	2			1	2						
	リスクマネジメント概論	2後	2				1					兼 1	
	生命倫理学	1後		2								兼 1	
専門発展科目	経営学総論	1後	2			1							
	経営戦略論	2前		2			1						
	国際経営論	3後		2			1						
	エネルギーマネジメント	2後		2			1						
	簿記学	3前		2								兼 1	
	会計学	3後		2								兼 1	
	マーケティングと消費者行動	2後		2		1						兼 1	設置審査の留意事項に基づき担当教員を追加(25) 担当 1名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 平成24年8月 提出予定(24)
	数理計画法	3前		2			1						
	サービス産業論	3前		2			1						
	人的資源管理論	3前		2		1							
	地域計画学	2後		2		1							
	地域経営論	3前		2		1							
	地域共生デザイン	3前		2		1							
	経済・経営数学	1後	2				1						
	経済学概論	1後	2			1							
	マクロ経済学	2前		2		1							
	ミクロ経済学	2前		2		1							
	食料問題とグローバル経済	3前		2		1							
	公共経済学	2後		2		1							
	経済地理学	2後		2						1			
	計量経済学	3後		2		1							
	財政学	2前		2			1						
	地方財政学	2後		2			1						
	環境経済政策論	2後		2			1	↓					講師から准教授に昇任(26) 担当 1名 平成26年2月 AC教員審査済 判定可
	政治学原論	2前	2				1						
	行政学	2前		2			1						
地方自治論	2後		2			1							
環境政治論	2後		2			1							
政策過程論	3前		2			1							
国際関係論Ⅰ	2後		2			↓					兼 1	担当教員退職に伴う変更(27)	
国際関係論Ⅱ	3前		2			↓					兼 1	担当教員退職に伴う変更(27)	
科学技術政策論	2後		2			1							
法律学概論	1後	2				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 発展 科目	行政法	3前		2								兼 1	
	環境法	3後		2								兼 1	
	民法総論	2前		2		1							設置審査の留意事項に基づき担当教員追加(25) 担当 1名 平成25年2月AC教員審査済 判定可 平成24年8月 提出予定(24)
	民法各論	2後		2								兼 1	
	企業と法 商法	2後		2		1							設置審査の留意事項に基づき科目名変更及び担当教員追加(25) 担当 1名 平成25年2月AC教員審査済 判定可 平成24年8月 提出予定(24)
	雇用と法 労働法	3前		2		1							設置審査の留意事項に基づき科目名変更(25) 担当 1名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可
	統治機構論	2前		2			1						
	比較憲法論	3前		2			1						
	基礎数学	1前		2			1		1				
	基礎数学演習	1前		2			1		1				
	社会数理システム	3後		2			1						
	データサイエンス及び演習	2後		2				+				兼 1	担当教員退職に伴う変更(27)
	社会調査法	2後		2		1							
	生体物質論	4前		2								兼 1	
	構造生物学	3後		2								兼 1	
	バイオインフォマティクス	4前		2								兼 1	
	農作物栽培学	3後		2								兼 1	
食品製造学	3後		2								兼 1		
環境影響評価	3後		2								兼 1		
環境保全学	3後		2								兼 3		
地球環境科学	3後		2								兼 2		
専門 特別 科目	地域社会システム学セミナーI 社会経営学セミナーI	3前	2			7 6	9 11 10	+	1				担当教員退職に伴う変更(27) 講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可 教員審査判定保留のため再審査(26) 平成25年8月 AC教員審査済 判定可 科目名を変更(25) 担当 18名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)
	地域社会システム学セミナーII 社会経営学セミナーII	3前		2		7 6	9 11 10	+	1				担当教員退職に伴う変更(27) 講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可 教員審査判定保留のため再審査(26) 平成25年8月 AC教員審査済 判定可 科目名を変更(25) 担当 18名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門特別科目	地域社会システム学実習Ⅰ 社会経営学実習Ⅰ	2後		2		4	2					科目名を変更(25) 担当 6名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 <small>学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)</small>
	地域社会システム学実習Ⅱ 社会経営学実習Ⅱ	3前		2		1	2					科目名を変更(25) 担当 3名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 <small>学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)</small>
	地域社会システム学演習 社会経営学演習	3後	2			7 6	9 11 10	1	1			担当教員退職に伴う変更(27) 講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可 教員審査判定保留のため再審査(26) 平成25年8月 AC教員審査済 判定可 科目名を変更(25) 担当 18名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 <small>学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)</small>
	インターンシップⅠ	2・3通 3前		1								履修時期弾力化のため配当年次を追加(25)
	インターンシップⅡ	2・3通 3前		1								履修時期弾力化のため配当年次を追加(25)
	職業指導	3前		2								兼1
	商業科教育法Ⅰ	2後		2								兼1
	商業科教育法Ⅱ	2後		2								兼1
地域社会システム学卒業論文 社会経営学卒業論文	4通	6			7 6	9 11 10	1	1			担当教員退職に伴う変更(27) 講師から准教授に昇任(26) 平成26年2月 AC教員審査済 判定可 教員審査判定保留のため再審査(26) 平成25年8月 AC教員審査済 判定可 科目名を変更(25) 担当 18名 平成24年10月 AC教員審査済 判定可 <small>学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定(24)</small>	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
25	209		234	25	250 242 238		275 267 263	
				[0]	[41] [-33] [-29]	[0]	[41] [-33] [-29]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	住まいの地方性	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
2	現代日本の政治と政策	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
3	経営分析のためのデータ解析	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
4	ドイツ語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2	2後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
5	こころの健康づくり	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
6	魔方陣から現代数学へ	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
7	ウイルスの生命科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
8	こころと体の障害の理解と支援	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
9	映画論的地域研究入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
10	数学に対する子どもの眼差し	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
11	吹奏楽の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
12	世界近現代史の潮流と日本	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
3	e-ラーニングⅢ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	e-ラーニングⅣ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	Intensive15-I（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	Intensive15-II（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
7	Intensive90-I（英語）	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
8	Intensive90-II（英語）	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
9	フランス語Intensive90-I	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
10	フランス語Intensive90-II	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
11	経営管理（マネジメント）	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
12	人間と機械	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
13	電気とコンピュータ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
14	スポーツ考現学への誘い	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
15	ドイツ語Intensive90-I	6	3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
16	ドイツ語Intensive90-II	6	3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
17	スポーツ映画に見る現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
18	企業概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
19	染色の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
20	高分子材料化学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
21	健康科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
22	健康社会学	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
23	健康なからだ論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
24	実用・実習学—帯花打楽器の特性と実践的編曲法	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
25	パーソナリティ心理学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目の見直しを行ったこと及び全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、当該科目を未開講及び廃止することになった。
当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。
なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	34	=	0.14
設置時の計画の授業科目数の計	234		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地に隣接する道路の拡張のため(27) 校地に隣接する道路の拡張のため(25)				
	校舎敷地	239,371㎡	0㎡	0㎡	239,371㎡					
	運動場用地	73,302㎡	0㎡	0㎡	73,302㎡					
	小 計	312,673㎡	0㎡	0㎡	312,673㎡					
	そ の 他	257,333㎡ 258,576㎡ 259,815㎡	0㎡	0㎡	257,333㎡ 258,576㎡ 259,815㎡					
合 計	570,006㎡ 571,249㎡ 572,488㎡	0㎡	0㎡	570,006㎡ 571,249㎡ 572,488㎡						
(2) 校 舎	専 用	132,992㎡ 131,985㎡ 128,955㎡	0㎡	0㎡	132,992㎡ 131,985㎡ 128,955㎡	施設の新設及び取り壊しのため(27) 施設の新設及び取り壊しのため(25)				
		(132,992㎡) (131,985㎡) (128,955㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(132,992㎡) (131,985㎡) (128,955㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	111室	演 習 室	28室	実験実習室	202室	情報処理学習施設	7室	語学学習施設	1室
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数			平成27年3月 専任教員5名が退職のため 平成26年10月 専任教員1名、専任助教 1名を新規採用のため (27) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)		
	生命環境学部				60 63 62					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	蔵書の整備のため(27) 蔵書の整備のため(26) 蔵書の整備のため(25)		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	生命環境学部	658,835 [189,530] (559,580) [169,037] - (578,164) (173,278) - (616,763) (179,637) - (630,535) (185,430)	14,858 [4,495] (17,672 [11,572]) - (13,873 [7,259]) - (13,438 [3,780]) - (14,858 [4,495])	5,080 [5,080] (7,761 [7,761]) - (7,543 [7,543]) - (5,488 [5,488]) - (5,080 [5,080])	(4,774) (4,696) (4,537) (4,386)	(5,234)	(130)			
	計	658,835 [189,530] (559,580) [169,037] - (578,164) (173,278) - (616,763) (179,637) - (630,535) (185,430)	14,858 [4,495] (17,672 [11,572]) - (13,873 [7,259]) - (13,438 [3,780]) - (14,858 [4,495])	5,080 [5,080] (7,761 [7,761]) - (7,543 [7,543]) - (5,488 [5,488]) - (5,080 [5,080])	(4,774) (4,696) (4,537) (4,386)	(5,234)	(130)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			図書館リニューアルのためスペースの見直し・改修のため(26) 施設マネジメントによるスペースの見直し・改修のため(25)		
	7,176㎡ 7,512㎡		334 548 552		559,000 598,000					
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	2,743㎡		野球場 2面 テニスコート 17面				小体育館、武道場、弓道場、プールほか			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による	
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育人間科学部									
学校教育課程	4	125	—	500	学士(教育)	1.05	平成10年度	山梨県甲府市武田4-4-37	
生涯学習課程	4	20	—	80	学士(教養)	1.10	〃		
国際共生社会課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		平成24年度より学生募集停止
ソトサイエンス課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		〃
医学部									
医学科	6	125	—	750	学士(医学)	1.00	昭和55年度	山梨県中央市下河東1110番地	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.01	平成7年度		
工学部									
機械工学科	4	55	3年次10	240	学士(工学)	1.10	平成24年度	山梨県甲府市武田4-3-11	
電気電子工学科	4	55	3年次5	230	学士(工学)	1.08	〃		
コンピュータ理工学科	4	55	3年次5	230	学士(工学)	1.08	〃		
情報メディア工学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.07	〃		
土木環境工学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.06	〃		
応用化学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.09	〃		
先端材料理工学科	4	35	—	140	学士(工学)	1.09	〃		
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		平成24年度より学生募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
コンピュータメディア工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		〃
応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度		〃
生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
循環システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
生命環境学部									
生命工学科	4	35	—	140	学士(生命工学)	1.06	平成24年度	山梨県甲府市武田4-目4-37	
地域食物科学科	4	30	—	120	学士(農学)	1.13	〃		
環境科学科	4	30	—	120	学士(環境科学)	1.11	〃		
地域社会システム学科	4	35	—	140	学士(社会科学)	1.07	〃		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ・ ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・ ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生命環境学部 生命工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	専	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	生体物質論 共生科学入門 遺伝科学概論 生化学演習 技術英語 I 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー 平成27年3月退職(27)
専	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	専	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	生体触媒学 基礎生物学 細胞生理学 生物工学実験IV 技術英語 II 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 平成27年3月退職(27)
専	教授	楠木 正巳 (59)	平成24年4月					構造生物学 生物物理化学 生物工学実験 I 技術英語 I バイオフィンフォマティクス 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー
専	教授	早川 正幸 (57)	平成24年4月	兼任	理事			応用微生物学 II 応用微生物学 I 生物工学実験 III ゲノミクス演習 技術英語 I 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 応用微生物学 II 応用微生物学 I 生物工学実験 III ゲノミクス演習 技術英語 I 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学 平成27年3月理事就任による退職(27) 平成24年10月 AC教員審査済(25)
専	教授	黒澤 尋 (50)	平成24年4月					生物化学工学 I 生物化学工学 II 細胞培養工学 生物工学実験 II 技術英語 I 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 理系のための英語論文の書き方 平成24年10月 AC教員審査済(25)
専	教授	若山 照彦 (45)	平成24年4月					発生工学 生命環境基礎ゼミ 動物解剖学 発生工学基礎実習 技術英語 I 科学英語演習 I 科学英語演習 II 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 平成26年10月 所属教員退職に伴う科目追加 AC教員審査済(27)

専	准教授	中村 和夫 (60)	平成24年4月	生物無機化学 生物分析化学 生物工学実験Ⅱ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー					生物無機化学 生物分析化学 生物工学実験Ⅱ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
専	准教授	大槻 隆司 (43)	平成24年4月	生命科学概論 生命環境基礎ゼミ 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー					生命科学概論 生命環境基礎ゼミ 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
専	准教授	新森 英之 (41)	平成24年4月	生物有機化学 基礎化学 化学実験 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	准教授	野田 悟子 (39)	平成24年4月	遺伝子工学 生命環境基礎ゼミ 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	助教	大山 拓次 (41)	平成24年4月	生物工学実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文	准教授		平成27年4月	生物工学実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 生命を科学する 生体触媒学 生化学演習 現代生活とバイオテクノロジー	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 平成26年10月 学弁定春教授退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 宮川洋三教授退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 所属教員退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 A C教員審査済 (27) 助教から准教授に昇任	
専	助教	中川 洋史 (38)	平成24年4月	生化学演習 生物工学実験Ⅲ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文				生化学演習 生物工学実験Ⅲ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 生命を科学する 遺伝科学概論	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 平成26年10月 宮川洋三教授退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27)	
専	助教	小久保 晋 (38)	平成24年4月	化学実験 生命工学卒業論文				化学実験 生命工学卒業論文 生命を科学する	平成24年10月 A C教員審査済 (25)	
専	助教	水谷 英二 (36)	平成24年4月	発生工学基礎実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文				発生工学基礎実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 生命を科学する	平成24年10月 A C教員審査済 (25)	

専	助教	山村 英樹 (35)	平成24年4月	生物工学実験Ⅲ ゲノミクス演習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文		准教授		平成27年4月	生物工学実験Ⅲ ゲノミクス演習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 有用微生物利用学 生体物質論 技術英語Ⅰ 現代生物とバイオテクノロジー	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 平成26年10月 宮川洋三教授退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 宮川洋三教授退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 所属教員退職に伴う科目追加 A C教員審査済 (27) 平成26年10月 助教から准教授に昇任 A C教員審査済 (27)	
						専	教授	岸上 哲士 (47)	平成27年4月	共生科学入門 基礎生物学 細胞生理学 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生物とバイオテクノロジー 医工学と現代社会	平成26年10月 教員の新規採用 A C教員審査済 (27)
						専	助教	大貫 喜嗣 (37)	平成27年4月	生物工学実験Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文	平成26年10月 教員の新規採用 A C教員審査済 (27)
兼任	教授	北村 真一 (61)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ							
兼任	教授	新藤 純子 (60)	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学							
兼任	教授	香川 知晶 (60)	平成24年4月	生命倫理学							
兼任	教授	坂本 康 (58)	平成24年4月	環境保全学							
兼任	教授	谷本 守正 (57)	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 食品加工学 基礎基礎生化学実習						生物資源実習 食物科学入門 食品加工学 基礎生化学実習 乳から見える世界いろいろ	平成25年2月 A C教員審査済 (25)
兼任	教授	御園生 拓 (57)	平成24年4月	生物学概論 放射線と現代 ものといのち						生物学概論 放射線と現代 ものといのち 環境問題という問題	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼任	教授	竹内 智 (57)	平成24年4月	共生科学入門 基礎物理学Ⅰ							
兼任	教授	風間 ふたば (56)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論							
兼任	教授	西久保 浩二 (53)	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析							
兼任	教授	柳田 藤寿 (51)	平成24年4月	生物資源実習 発酵工業学 基礎生化学実習 ワインと宝石							
兼任	教授	村松 昇 (48)	平成24年4月	共生科学入門 生物資源論 生物資源実習 栽培植物育種法 基礎生化学実習							
兼任	教授	奥田 徹 (47)	平成24年4月	生物資源実習 食品成分分析学 基礎生化学実習 ワインと宝石							

兼担	教授	大野 伸一 (64)	平成26年4月	生命科学方法論		兼担	准教授	大野 伸彦 (38)	平成27年4月	生命科学方法論	平成27年3月 大野伸一教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)				
兼担	教授	佐藤 悠 (64)	平成26年4月	生命科学方法論		兼担	准教授	北間 敏弘 (51)	平成26年4月	生命科学方法論	平成25年4月 佐藤悠教授理事就任のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)				
兼担	教授	有田 順 (63)	平成26年4月	環境健康科学											
兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	喜多村 和郎 (44)	平成26年10月	環境健康科学	兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学	平成26年10月 三井和浩教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (27) 平成24年11月退職 (25)
兼担	教授	山縣然太郎 (55)	平成26年4月	環境健康科学											
兼担	教授	範 江林 (55)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	秋山 真治 (55)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	北村 正敬 (54)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	齋藤 正夫 (48)	平成26年4月	環境健康科学						平成25年12月 北村正敬教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)
兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	教授	川原 教雄 (49)	平成26年6月	生命科学方法論	兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	平成25年3月 平 敬宏教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (27) 平成25年3月退職 (25)
兼担	教授	宮澤 恵二 (53)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	久保田健夫 (53)	平成26年4月	環境健康科学											
兼担	教授	中尾 篤人 (50)	平成26年4月	環境健康科学											
兼担	教授	小泉 修一 (50)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	森石 恒司 (49)	平成26年4月	環境健康科学											
兼担	教授	安達 登 (47)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	竹田 扇 (46)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	大塚 稔久 (45)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	教授	中本 和典 (43)	平成26年4月	生命科学方法論											
兼担	准教授	山下 裕之 (54)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生物資源論 基礎生化学実習											
兼担	准教授	高橋 智子 (53)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代											
兼担	准教授	伊藤 一帆 (51)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習											
兼担	准教授	岸本 宗和 (49)	平成24年4月	微生物育種学 基礎生化学実習 ワインと宝石 ワイン製造及び体験実習											
兼担	准教授	金 基成 (47)	平成24年4月	共生科学入門 現代政治の 이슈ー											
兼担	准教授	三木 健夫 (43)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習											

兼担	准教授	松本 潔 (43)	平成24年4月	地球環境科学 ガイア仮説と地球システム科学							
兼担	准教授	鈴木 俊二 (43)	平成24年4月	農作物病理学 基礎生化学実習 ワインと宝石							
兼担	准教授	門野 圭司 (41)	平成24年4月	経済経営学入門							
兼担	准教授	小林 拓 (41)	平成24年4月	地球環境科学					地球環境科学 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)	
兼担	准教授	島崎 洋一 (41)	平成24年4月	情報処理及び演習							
兼担	准教授	望月 和樹 (39)	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習					生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 乳から見える世界いろいろ	平成25年 2月 A C教員審査済 (25)	
兼担	准教授	久本 雅嗣 (38)	平成24年4月	基礎生化学実習 ワインと宝石							
兼担	准教授	竹之内 玲子 (38)	平成24年4月	経済経営学入門							
兼担	准教授	石塚 迅 (38)	平成24年4月	法律学概論 日本国憲法							
兼担	准教授	中田 美紀 (38)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習							
兼担	准教授	岩田 智也 (38)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ							
兼担	准教授	島 弘幸 (37)	平成24年4月	微積分学 線形代数学 基礎物理学Ⅱ					微積分学 線形代数学 基礎物理学Ⅱ 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)	
兼担	准教授	下川 敏雄 (36)	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習	兼任	講師	迫田 宇広 (42)	平成27年4月	基礎統計学 基礎統計学演習	平成27年3月 下川敏雄准教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)	
兼担	講師	喜多川 進 (46)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境政策の展開		准教授				講師から准教授に昇任 (26) (平成26年4月)	
兼担	講師	鈴木 保任 (44)	平成24年4月	化学概論		准教授			化学概論 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 講師から准教授に昇任 (26) (平成26年4月)	
兼担	講師	三枝 岳志 (52)	平成26年4月	生命科学方法論							
兼担	講師	西郷 達彦 (39)	平成26年4月	生命科学方法論		准教授				講師から准教授に昇任 (25) (平成24年11月)	
兼担	助教	田中 靖浩 (41)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ							
兼担	助教	乙黒(小林)美彩 (38)	平成24年4月	基礎生化学実習							
兼担	助教	馬籠 純 (35)	平成24年4月	情報処理及び演習							
兼担	助教	宮川 雅至 (34)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習							
兼担	助教	片岡 良太 (32)	平成24年4月	環境保全学					環境保全学 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)	
兼担	助教	山下 さやか (30)	平成24年4月	生物資源実習 基礎生化学実習							
兼担	助教	斉藤 史恵 (29)	平成24年4月	基礎生化学実習							
兼任	講師	長谷川 達也 (51)	平成26年4月	環境毒性学							

兼任	講師	千野 正雄 (68)	平成27年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	長谷 俊治 (64)	平成27年4月	特別講義Ⅲ	兼任	講師	中川 敦史 (54)	平成27年4月	特別講義Ⅲ	平成27年3月 長谷俊治非常勤講師辞退のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
兼任	講師	大川 栄一 (62)	平成27年4月	特別講義Ⅰ						
兼任	講師	大熊 盛也 (51)	平成27年4月	特別講義Ⅳ	兼任	講師	若山 清香 (40)	平成27年4月	特別講義Ⅳ	平成27年3月 大熊盛也非常勤講師辞退のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
					兼任	講師	宮川 洋三 (65)	平成27年10月	応用微生物学Ⅱ	平成27年3月 早川正幸教授の理事就任のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	4	0	5	15	4 6	6 4	0	4 5	14 15	65	0	65	0
(6)	(4)	(0)	(5)	(15)	[Δ2]	[2]	[0]	[Δ1]	[Δ1]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	宮川 洋三	定年による退職のため（27）
2	教授	宇井 定春	定年による退職のため（27）
3	教授	早川 正幸	理事就任による退職のため（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職者担当科目については、全て同学科の専任教員担当するので、履修上の影響は無いと考える。
理事就任による退職者の担当科目については、引き続き担当するほか、非常勤講師を採用し対応するので、履修上の影響は無いと考える。
学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<生命環境学部 地域食物科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	谷本 守正 (57)	平成24年4月	食品製造学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 食品加工学 食品製造学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文					食品製造学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 食品加工学 食品製造学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 乳から見える世界いろいろ	平成25年2月 AC教員審査済 (25)
専	教授	柳田 藤寿 (51)	平成24年4月	発酵工業学 生物資源実習 ワイン微生物学 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 醸造微生物実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	教授	村松 昇 (48)	平成24年4月	農作物栽培学 共生科学入門 生物資源論 生物資源実習 基礎生化学実習 栽培植物育種法 野菜栽培実習 農作物生産学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	教授	奥田 徹 (47)	平成24年4月	食品成分分析学 生物資源実習 基礎生化学実習 ワイン品質評価学 ワイン製造科学実習 機能成分分析実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	准教授	山下 裕之 (54)	平成24年4月	植物生理学 生命環境基礎ゼミ 生物資源論 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ブドウ栽培学実習 果実遺伝子実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						

専	准教授	岸本 宗和 (49)	平成24年4月	微生物育種学 基礎生化学実習 醸造微生物実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石 ワイン製造及び体験実習						
専	准教授	三木 健夫 (43)	平成24年4月	食品保蔵学 生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習 食品製造学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	准教授	鈴木 俊二 (43)	平成24年4月	農作物病理学 基礎生化学実習 ブドウ栽培学実習 果実遺伝子実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	准教授	望月 和樹 (39)	平成24年4月	食品栄養学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 栄養学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文				食品栄養学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 栄養学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 乳から見える世界いろいろ	平成25年2月 AC教員審査済 (25)	
専	准教授	久本 雅嗣 (38)	平成24年4月	機能成分学 基礎生化学実習 機能成分分析実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	准教授	中田 美紀 (38)	平成24年4月	農作物生産学 生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習 野菜栽培実習 農作物生産学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	助教	乙黒(小林)美彩 (38)	平成24年4月	醸造微生物実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文				醸造微生物実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文	教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済 (24) 教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済 (24) 教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済 (24)	
専	助教	山下 さやか (30)	平成24年4月	栄養学実験 生物資源実習 基礎生化学実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						

専	助教	齊藤 史恵 (29)	平成24年4月	機能成分分析実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文							
兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	平成27年3月退職(27)	
兼担	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	基礎生物学 生体触媒学 現代生活とバイオテクノロジー	兼担	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	基礎生物学 生体触媒学 現代生活とバイオテクノロジー	平成27年3月退職(27)	
兼担	教授	北村 眞一 (61)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ							
兼担	教授	新藤 純子 (60)	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学							
兼担	教授	香川 知晶 (60)	平成24年4月	生命倫理学							
兼担	教授	楠木 正巳 (59)	平成24年4月	構造生物学 現代生活とバイオテクノロジー							
兼担	教授	坂本 康 (58)	平成24年4月	環境保全学							
兼担	教授	早川 正幸 (57)	平成24年4月	応用微生物学Ⅰ 現代生活とバイオテクノロジー					応用微生物学Ⅰ 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学	平成24年10月 A C教員審査済(25)	
兼担	教授	御園生 拓 (57)	平成24年4月	生物学概論 放射線と現代 ものとのち					生物学概論 放射線と現代 ものとのち 環境問題という問題	平成24年10月 A C教員審査済(25)	
兼担	教授	竹内 智 (57)	平成24年4月	共生科学入門 基礎物理学Ⅰ							
兼担	教授	風間 ふたば (56)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論							
兼担	教授	西久保 浩二 (53)	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析					経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析 マーケティングと消費者行動	平成24年10月 A C教員審査済(25) 平成24年8月 提出予定(24)	
兼担	教授	黒澤 尋 (50)	平成24年4月	生物化学工学Ⅱ 細胞培養工学 現代生活とバイオテクノロジー					生物化学工学Ⅱ 細胞培養工学 現代生活とバイオテクノロジー 種系のための英語論文の書き方	平成24年10月 A C教員審査済(25)	
兼担	教授	若山 照彦 (45)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 発生工学							
兼担	教授	大野 伸一 (64)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	准教授	大野 伸彦 (38)	平成27年4月	生命科学方法論	平成27年3月 大野伸一教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更(27)	
兼担	教授	佐藤 悠 (64)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	准教授	北間 敏弘 (51)	平成26年4月	生命科学方法論	平成25年4月 佐藤悠教授理事就任のため 平成26年度より担当者の 変更(26)	
兼担	教授	有田 順 (63)	平成26年4月	環境健康科学							
兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	喜多村 和郎 (44)	平成26年10月	環境健康科学	平成26年10月 三井和浩教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更(27)	
兼担	教授	山縣然太郎 (55)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学	平成24年11月退職(25)	
兼担	教授	範 江林 (55)	平成26年4月	生命科学方法論							
兼担	教授	秋山 真治 (55)	平成26年4月	生命科学方法論							
兼担	教授	北村 正敬 (54)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	齋藤 正夫 (48)	平成26年4月	環境健康科学	平成25年12月 北村正敬教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更(26)	

兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	教授	川原 敦雄 (49)	平成26年6月	生命科学方法論	平成25年3月 平 敬宏教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (27) 平成25年3月退職 (25)
					兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	
兼担	教授	宮澤 恵二 (53)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	久保田健夫 (53)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	中尾 篤人 (50)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	小泉 修一 (50)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	森石 恒司 (49)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	安達 登 (47)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	竹田 扇 (46)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	大塚 稔久 (45)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	中本 和典 (43)	平成26年4月	生命科学方法論						
					兼担	教授	岸上 哲士 (47)	平成27年4月	共生科学入門 基礎生物学 現代生活とバイオテクノロジー 医工学と現代社会	平成26年10月 教員の新規採用 A C教員審査済 (27)
兼担	准教授	高橋 智子 (53)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代						
兼担	准教授	伊藤 一帆 (51)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼担	准教授	金 基成 (47)	平成24年4月	共生科学入門 現代政治のイシュー						
兼担	准教授	大槻 隆司 (43)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー					生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼担	准教授	松本 潔 (43)	平成24年4月	地球環境科学 エアロゾルと地球システム科学						
兼担	准教授	門野 圭司 (41)	平成24年4月	経済経営学入門						
兼担	准教授	小林 拓 (41)	平成24年4月	地球環境科学					地球環境科学 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼担	准教授	新森 英之 (41)	平成24年4月	基礎化学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼担	准教授	島崎 洋一 (41)	平成24年4月	情報処理及び演習						
兼担	准教授	野田 悟子 (39)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 現代生活とバイオテクノロジー						
兼担	准教授	竹之内 玲子 (38)	平成24年4月	経済経営学入門 国際経営論						
兼担	准教授	岩田 智也 (38)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼担	准教授	島 弘幸 (37)	平成24年4月	微積分学 線形代数 基礎物理学 II					微積分学 線形代数 基礎物理学 II 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
					兼担	准教授	大山 拓次 (44)	平成27年4月	生体触覚学	平成26年10月 宇井定孝教授退職のため 平成27年度より担当者の変更 A C教員審査済 (27)

					兼任	准教授	山村 英樹 (38)	平成27年4月	生体物質論	平成26年10月 宮川洋三教授退職のため 平成27年度より担当者の変更 A C教員審査済 (27)
兼任	准教授	下川 敏雄 (36)	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習	兼任	講師	迫田 宇広 (42)	平成27年4月	基礎統計学 基礎統計学演習	平成27年3月 下川敏雄准教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
兼任	講師	喜多川 進 (46)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境政策の展開		准教授				講師から准教授に昇任 (26) (平成26年4月)
兼任	講師	鈴木 保任 (44)	平成24年4月	化学概論		准教授			化学概論 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 講師から准教授に昇任 (26) (平成26年4月)
兼任	講師	三枝 岳志 (52)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	講師	西郷 達彦 (39)	平成26年4月	生命科学方法論		准教授				講師から准教授に昇任 (25) (平成24年11月)
兼任	助教	田中 靖浩 (41)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	助教	馬籠 純 (35)	平成24年4月	情報処理及び演習						
兼任	助教	宮川 雅至 (34)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼任	助教	片岡 良太 (32)	平成24年4月	環境保全学					環境保全学 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼任	講師	亀井 忠文 (55)	平成25年4月	農業科教育法Ⅰ (隔年) 農業科教育法Ⅱ (隔年)						
兼任	講師	深澤 眞悟 (53)	平成25年4月	職業指導Ⅰ (隔年) 職業指導Ⅱ (隔年)						
兼任	講師	佐藤 充克 (65)	平成26年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	辻 政雄 (61)	平成26年4月	特別講義Ⅳ						
兼任	講師	長谷川 達也 (51)	平成26年4月	環境毒性学						
兼任	講師	峯 洋子 (48)	平成26年4月	野菜園芸学						
兼任	講師	千野 正雄 (68)	平成27年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	大川 栄一 (62)	平成27年4月	特別講義Ⅰ						
					兼任	講師	井上 智紀 (40)	平成25年4月	マーケティングと消費行動	設置審査結果「保留」による教員の通知 (26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	7	0	3	14	4	7	0	3	14	65	0	65	0
(4)	(7)	(0)	(3)	(14)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			該当なし
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<生命環境学部 環境科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	新藤 純子 (60)	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	坂本 康 (58)	平成24年4月	環境影響評価 土壌科学 環境保全学 環境科学基礎実験Ⅱ 地図科学実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	御園生 拓 (57)	平成24年4月	生物学概論 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 放射線と現代 ものといのち					生物学概論 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 放射線と現代 ものといのち 環境問題という問題	平成24年10月 AC教員審査済 (25)
専	教授	竹内 智 (57)	平成24年4月	基礎物理学Ⅰ 共生科学入門 システムダイナミクス及び実習 資源循環型ものづくり実習 環境科学基礎実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	風間 ふたば (56)	平成24年4月	環境分析化学Ⅱ 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 環境計測実習 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	西田 継 (44)	平成24年4月	水圏科学 土壌科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 地図科学実習 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						

専	准教授	松本 潔 (43)	平成24年4月	大気環境科学 地球環境科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 ガイア仮説と地球システム科学						
専	准教授	石平 博 (42)	平成24年4月	水循環学 環境モデリング及び実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	小林 拓 (41)	平成24年4月	気象学 地球環境科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文					気象学 地球環境科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
専	准教授	岩田 智也 (38)	平成24年4月	生態学 生命環境基礎ゼミ 多様性生物論 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	島 弘幸 (37)	平成24年4月	微積分学 線形代数学 基礎物理学Ⅱ 環境科学基礎実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文					微積分学 線形代数学 基礎物理学Ⅱ 環境科学基礎実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
専	講師	鈴木 保任 (44)	平成24年4月	環境化学 化学概論 環境分析化学Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅰ 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文	准教授		平成26年4月	環境化学 化学概論 環境分析化学Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅰ 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25) 平成26年2月 A C教員審査済 (26) 講師から准教授に昇任	
専	助教	田中 靖浩 (41)	平成24年4月	微生物生態学 生命環境基礎ゼミ 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						

専	助教	馬籠 純 (35)	平成24年4月	環境情報学及び実習 情報処理及び演習 地図科学実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	助教	片岡 良太 (32)	平成24年4月	環境保全学 環境科学基礎実験Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅱ 地図科学実習 環境アセスメント実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文					環境保全学 環境科学基礎実験Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅱ 地図科学実習 環境アセスメント実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 自然科学と環境	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	平成27年3月退職 (27)
兼担	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	基礎生物学 現代生活とバイオテクノロジー	兼担	教授	宇井 定春 (62)	平成24年4月	基礎生物学 現代生活とバイオテクノロジー	平成27年3月退職 (27)
兼担	教授	北村 眞一 (61)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼担	教授	香川 知晶 (60)	平成24年4月	生命倫理学						
兼担	教授	楠木 正巳 (59)	平成24年4月	バイオフィノマティクス 現代生活とバイオテクノロジー						
兼担	教授	谷本 守正 (57)	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門					生物資源実習 食物科学入門 乳から見える世界いろいろ	平成25年2月 A C教員審査済 (25)
兼担	教授	西久保 浩二 (53)	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析						
兼担	教授	柳田 藤寿 (51)	平成24年4月	生物資源実習 発酵工業学 ワインと宝石						
兼担	教授	村松 昇 (48)	平成24年4月	共生科学入門 生物資源論 生物資源実習						
兼担	教授	奥田 徹 (47)	平成24年4月	生物資源実習 ワインと宝石						
兼担	教授	若山 照彦 (45)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼担	教授	大野 伸一 (64)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	准教授	大野 伸彦 (38)	平成27年4月	生命科学方法論	平成27年3月 大野伸一教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
兼担	教授	佐藤 悠 (64)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	准教授	北間 敏弘 (51)	平成26年4月	生命科学方法論	平成25年4月 佐藤悠教授理事就任のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)
兼担	教授	有田 順 (63)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	喜多村 和郎 (44)	平成26年10月	環境健康科学	平成26年10月 三井和浩教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (27) 平成24年11月退職 (25)
				兼担	教授	三井 和浩 (58)	平成26年4月	環境健康科学		
兼担	教授	山縣然太郎 (55)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	範 江林 (55)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	秋山 真治 (55)	平成26年4月	生命科学方法論						

兼担	教授	北村 正敬 (54)	平成26年4月	環境健康科学	兼担	教授	齋藤 正夫 (48)	平成26年4月	環境健康科学	平成25年12月 北村正敬教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)
兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	兼担	教授	川原 敦雄 (49)	平成26年6月	生命科学方法論	平成25年3月 平 敬宏教授退職のため 平成26年度より担当者の 変更 (27) 平成25年3月退職 (25)
					兼担	教授	平 敬宏 (53)	平成26年4月	生命科学方法論	
兼担	教授	宮澤 恵二 (53)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	久保田健夫 (53)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	中尾 篤人 (50)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	小泉 修一 (50)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	森石 恒司 (49)	平成26年4月	環境健康科学						
兼担	教授	安達 登 (47)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	竹田 扇 (46)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	大塚 稔久 (45)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	教授	中本 和典 (43)	平成26年4月	生命科学方法論						
					兼担	教授	岸上 哲士 (47)	平成27年4月	共生科学入門 基礎生物学 現代生活とバイオテクノロジー 医工学と現代社会	平成26年10月 教員の新規採用 A C教員審査済 (27)
兼担	准教授	山下 裕之 (54)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生物資源論						
兼担	准教授	高橋 智子 (53)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代						
兼担	准教授	伊藤 一帆 (51)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習 社会数理システム						
兼担	准教授	金 基成 (47)	平成24年4月	共生科学入門 環境政治論 現代政治の 이슈						
兼担	准教授	大槻 隆司 (43)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー					生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー 有用微生物利用学	平成24年10月 A C教員審査済 (25)
兼担	准教授	三木 健夫 (43)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼担	准教授	門野 圭司 (41)	平成24年4月	経済経営学入門						
兼担	准教授	新森 英之 (41)	平成24年4月	基礎化学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼担	准教授	島崎 洋一 (41)	平成24年4月	情報処理及び演習 エネルギーマネジメント						
兼担	准教授	野田 悟子 (39)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 遺伝子工学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼担	准教授	望月 和樹 (39)	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門					生物資源実習 食物科学入門 乳から見える世界いろいろ	平成25年2月 A C教員審査済 (25)
兼担	准教授	竹之内 玲子 (38)	平成24年4月	経済経営学入門						

兼担	准教授	中田 美紀 (38)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼担	准教授	下川 敏雄 (36)	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習	兼任	講師	迫田 宇広 (42)	平成27年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習	平成27年3月 下川敏雄准教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
兼担	講師	喜多川 進 (46)	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境経済政策論 環境政策の展開		准教授		平成26年4月		平成26年2月 A C教員審査済 (26) 講師から准教授に昇任
兼担	講師	三枝 岳志 (52)	平成26年4月	生命科学方法論						
兼担	講師	西郷 達彦 (39)	平成26年4月	生命科学方法論		准教授				講師から准教授に昇任 (25) (平成24年11月)
兼担	助教	宮川 雅至 (34)	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼担	助教	山下 さやか (30)	平成24年4月	生物資源実習						
兼任	講師	田中 次郎 (63)	平成26年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	安原 正也 (57)	平成26年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	平沢 尚彦 (53)	平成26年4月	特別講義Ⅰ						
兼任	講師	長谷川 達也 (51)	平成26年4月	環境毒性学						
兼任	講師	黒住 悟 (40)	平成26年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	伊藤 喜宏 (40)	平成26年4月	特別講義Ⅳ						
兼任	講師	安田 泰輔 (39)	平成26年4月	植物生態学						
兼任	講師	横山 丈太郎 (37)	平成26年4月	環境法	兼担	講師	伊藤 智基 (35)	平成27年4月	環境法	平成27年4月 交告尚史講師辞退のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
					兼担	講師	交告 尚史 (58)	平成26年4月	環境法	平成26年4月 横山丈太郎講師辞退のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	6	1	3	15	5	7 6	1	3	15	65	0	65	0
(5)	(6)	(1)	(3)	(15)	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			該当なし
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<生命環境学部 地域社会システム学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北村 真一 (61)	平成24年4月	地域経営論 生命環境基礎ゼミ 社会調査法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					地域経営論 生命環境基礎ゼミ 社会調査法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24)
専	教授	西久保 浩二 (53)	平成24年4月	人的資源管理論 経済経営学入門 経営学総論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 経営分析のためのデータ解析					人的資源管理論 経済経営学入門 経営学総論 マーケティングと消費者行動 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 経営分析のためのデータ解析	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24)

専	教授	渡邊 靖仁 (52)	平成24年4月	ミクロ経済学 公共経済学 計量経済学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				ミクロ経済学 公共経済学 計量経済学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24)
専	教授	大山 勲 (52)	平成24年4月	地域計画学 地域共生デザイン 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				地域計画学 地域共生デザイン 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24)
専	教授	渡邊 幹彦 (49)	平成24年4月	経済学概論 マクロ経済学 食料問題とグローバル経済 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				経済学概論 マクロ経済学 食料問題とグローバル経済 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月] A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24 年8月提出予定(24)

専	教授	大山 盛義 (47)	平成24年4月	労働法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				雇用と法 労働法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 生活トラブルと法	平成24年10月 AC教員審査済(25) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25)	
					専	教授	稲田 和也 (49)	平成25年4月	民法総論 企業と法 地域社会システム学演習 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学卒業論文	平成25年2月 設置審査の留意事項に基づき担当教 員追加(25) 平成25年2月 設置審査の留意事項に基づき担当教 員追加(25) 平成25年8月 AC教員審査済(26) 平成25年8月 AC教員審査済(26) 平成25年8月 AC教員審査済(26) 平成25年8月 AC教員審査済(26)
専	准教授	高橋 智子 (53)	平成24年4月	科学技術政策論 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 放射線と現代				科学技術政策論 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 放射線と現代	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24)	
専	准教授	伊藤 一帆 (51)	平成24年4月	社会数理システム 基礎数学 基礎数学演習 経済・経営数学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				社会数理システム 基礎数学 基礎数学演習 経済・経営数学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24 年8月提出予定(24)	

専	准教授	金 基成 (47)	平成24年4月	政治学原論 共生科学入門 環境政治論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 現代政治のイシュー				政治学原論 共生科学入門 環境政治論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 現代政治のイシュー	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)	
専	准教授	坪内 淳 (42)	平成24年4月	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 世界近現代史の潮流と日本	専	准教授	坪内 淳 (42)	平成24年4月	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 世界近現代史の潮流と日本	平成27年3月退職(27) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 世界近現代史の潮流と日本 新聞から世界を眺む 平成24年10月 AC教員審査済(25)
専	准教授	門野 圭司 (41)	平成24年4月	地方財政学 経済経営学入門 財政学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				地方財政学 経済経営学入門 財政学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)	
専	准教授	島崎 洋一 (41)	平成24年4月	エネルギーマネジメント 情報処理及び演習 数理計画法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				エネルギーマネジメント 情報処理及び演習 数理計画法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 AC教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)	

専	准教授	藤原 真史 (38)	平成24年4月	行政学 地方自治論 政策過程論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 現代日本の政治と政策				行政学 地方自治論 政策過程論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 現代日本の政治と政策	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)
専	准教授	竹之内 玲子 (38)	平成24年4月	経営戦略論 経済経営学入門 国際経営論 サービス産業論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文				経営戦略論 経済経営学入門 国際経営論 サービス産業論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)
専	准教授	石塚 迅 (38)	平成24年4月	法学概論 統治機構論 比較憲法論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 日本国憲法				法学概論 統治機構論 比較憲法論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 日本国憲法	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定(24)

専	准教授	下川 敏雄 (36)	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文	専	准教授	下川 敏雄 (36)	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成27年3月退職(27)	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24)
専	講師	喜多川 進 (46)	平成24年4月	環境経済政策論 生命環境基礎ゼミ 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 環境政策の展開	准教授			平成26年4月	環境経済政策論 生命環境基礎ゼミ 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 環境政策の展開	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成26年2月 A C教員審査済(26) 講師から准教授に昇任	
専	助教	宮川 雅至 (34)	平成24年4月	経済地理学 基礎数学 基礎数学演習 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					経済地理学 基礎数学 基礎数学演習 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24) 平成24年10月 A C教員審査済(25) 学科名の變更に伴い、科目名を變更 平成24年8月提出予定(24)	
兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	兼担	教授	宮川 洋三 (62)	平成24年4月	共生科学入門 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー	平成27年3月退職(27)	
兼担	教授	新藤 純子 (60)	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学							
兼担	教授	香川 知晶 (60)	平成24年4月	生命倫理学							
兼担	教授	楠木 正巳 (59)	平成24年4月	構造生物学 バイオフィーマティクス 現代生活とバイオテクノロジー							
兼担	教授	坂本 康 (58)	平成24年4月	環境影響評価 環境保全学							
兼担	教授	谷本 守正 (57)	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 食品製造学					生物資源実習 食物科学入門 食品製造学 乳から見る世界いろいろ	平成25年2月 A C教員審査済(25)	
兼担	教授	竹内 智 (57)	平成24年4月	共生科学入門							

					兼任 講師	伊藤 智基 (35)	平成27年4月	環境法	平成27年4月 交告尚史講師辞退のため 平成27年度より担当者の 変更 (27) 平成26年4月 横山丈太郎講師辞退のため 平成26年度より担当者の 変更 (26)
					兼任 講師	交告 尚史 (58)	平成26年4月	環境法	
					兼任 講師	井上 智紀 (40)	平成25年4月	マーケティングと消費者行動	設置審査の留意事項に基づき担当教員を通知 (25)
					兼任 講師	小松 志朗 (37)	平成27年4月	国際関係論 I 国際関係論 II	平成27年3月 坪内 淳准教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)
					兼任 講師	迫田 宇広 (42)	平成27年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習	平成27年3月 下川 敏雄准教授退職のため 平成27年度より担当者の 変更 (27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	10	1	1	18	7	9 11 10	4	1	17 19	65	0	65	0
(6)	(10)	(1)	(1)	(18)	[1]	[1] [1]	[Δ1]	[0]	[1] [1]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	坪内 淳	自己都合（聖心女子大学に教授として採用）による退職のため（27）
2	准教授	下川 敏雄	自己都合（和歌山県立医科大学臨床研究センター副センター長に採用）による退職のため（27）
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合による退職者（2名）が担当していた科目については、非常勤講師を採用し対応するので履修上の影響は無いと考える。学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<全学共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
<全学共通教育科目担当>											
					兼任	学長	島田 眞路 (63)	平成27年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)	
					兼任	理事	堀 哲夫 (66)	平成27年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)	
兼任	教授	清弘 智昭 (64)	平成24年4月	電気とコンピュータ	兼任	教授	清弘 智昭 (64)	平成24年4月	電気とコンピュータ	平成25年3月退職 (25)	
兼任	教授	齋藤 康彦 (64)	平成24年4月	経済学の見方	兼任	准教授	宇多 賢治郎 (40)	平成25年4月	経済学の見方	平成25年3月 齋藤康彦教授退職のため平成25年度より担当の変更 (25)	
兼任	教授	新田 静江 (64)	平成24年4月	社会における看護と介護	兼任	教授	浅川 和美 (56)	平成25年4月	社会における看護と介護	平成25年3月 新田静江教授退職のため平成25年度より担当の変更 (25)	
兼任	教授	水口 義久 (64)	平成24年4月	これからの機械技術	兼任	教授	水口 義久 (64)	平成24年4月	これからの機械技術	平成25年3月退職 (25)	
兼任	教授	勢田 二郎 (63)	平成24年4月	投資と資産形成 染色の科学	兼任	教授	勢田 二郎 (63)	平成24年4月	染色の科学	平成26年3月退職 (26)	
兼任	教授	手塚 実 (63)	平成24年4月	アンサンブルの楽しみ	兼任	教授	手塚 実 (63)	平成24年4月	吹奏楽の楽しみ	平成26年3月退職 (26) カリキュラムの整備により科目を変更 (24)	
兼任	教授	原田 博 (63)	平成24年4月	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 総合英語					英語A初級 英語A I 英語A中級 英語A II 英語B初級 英語B I 英語B中級 英語B II 総合英語	平成26年3月退職 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) 平成26年3月退職 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) 平成26年3月退職 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) 平成26年3月退職 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) 平成26年3月退職 (26)	
兼任	教授	福永 茂 (63)	平成24年4月	生活と健康 I 生活と健康 II 健康科学	兼任	講師 教授				健康科学 健康科学	教授から講師に職位変更 (26) 教授から講師に職位変更 (26) 平成26年3月退職 (26)
兼任	教授	本田 建 (63)	平成24年4月	人間と機械	兼任	教授	本田 建 (63)	平成24年4月	人間と機械	カリキュラムの整備により廃止 (25)	
兼任	教授	成瀬 哲生 (62)	平成24年4月	キャリア形成のための作文演習	兼任	講師 教授				教授から講師に職位変更 (27)	
兼任	教授	三重野 卓 (62)	平成24年4月	社会変動と人間	兼任	教授	三重野 卓 (62)	平成24年4月	社会変動と人間	平成24年3月退職 (24)	
兼任	教授	須貝 千里 (61)	平成24年4月	小児における(他者)の問題							
兼任	教授	鳥養 映子 (61)	平成24年4月	理系女性のキャリア形成 科学・デザイン・コミュニケーション 放射線と現代					理系女性のキャリア形成 科学・デザイン・コミュニケーション 放射線と現代	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)	
兼任	教授	藤本 俊 (61)	平成24年4月	生活と健康 I 生活と健康 II スポーツマッサージ入門							
兼任	教授	岡林 春雄 (60)	平成24年4月	メディアと人間					メディア社会における心理 メディアと人間	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26)	
兼任	教授	香川 知晶 (60)	平成24年4月	生命倫理 社会の中の医療・医学							
兼任	教授	川村 協平 (60)	平成24年4月	生活と健康 I アウトドアパスーツ I アウトドアパスーツ II					生活と健康 I アウトドアパスーツ I アウトドアパスーツ II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)	
兼任	教授	酒匂 淳 (60)	平成24年4月	ピアノを弾こう							

兼担	教授	園家 啓嗣 (60)	平成24年4月	これからの機械技術	兼担	教授	園家 啓嗣 (60)	平成24年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼担	教授	中川 清和 (60)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼担	教授	萩原 親作 (60)	平成24年4月	人間と機械	兼担	教授	萩原 親作 (60)	平成24年4月	人間と機械	カリキュラムの整備により廃止(25)
兼担	教授	平田 徹 (60)	平成24年4月	ヒトに至る生命の歴史						
兼担	教授	松本 雅彦 (60)	平成24年4月	医療の最先端	兼担	教授	大西 洋 (52)	平成26年4月	医療の最先端	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼担	教授	森田 秀二 (60)	平成24年4月	フランス語初級 I フランス語初級 II フランス語演習 I フランス語演習 II 映像を通じて見る異文化					フランス語初級 I フランス語初級 II フランス語演習 I フランス語演習 II Intercultural Understanding through Image 映像を通じて見る異文化 フランス語Intensive00-I カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24) フランス語Intensive00-II カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24) フランス語01(コミュニケーション) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) フランス語01(コミュニケーション) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) フランス語中級演習I カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) フランス語中級演習II カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)	
兼担	教授	佐藤 一郎 (59)	平成24年4月	哲学のさまざまな問題						
兼担	教授	藤間 一美 (59)	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス						
兼担	教授	宮澤 正明 (59)	平成24年4月	国語表現						
兼担	教授	上里 正男 (58)	平成24年4月	科学技術史入門						
兼担	教授	鳥海 順子 (58)	平成24年4月	特別支援教育総論	兼担	教授	鳥海 順子 (58)	平成24年4月	特別支援教育総論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)
兼担	教授	池田 尚隆 (57)	平成24年4月	源氏物語を読む						
兼担	教授	加藤 繁美 (57)	平成24年4月	映像で考える子どもと教育	兼担	教授	加藤 繁美 (57)	平成24年4月	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
兼担	教授	菅沼 研一 (57)	平成24年4月	感性による造形						
兼担	教授	中丸 宣明 (56)	平成24年4月	日本文学作品論Ⅱ	兼担	教授	中丸 宣明 (56)	平成24年4月	日本文学作品論Ⅱ	平成24年3月退職(24)
兼担	教授	堀 裕和 (56)	平成24年4月	ものといのち						
兼担	教授	奥村 圭子 (55)	平成24年4月	異文化間コミュニケーション 映像を通じて見る異文化					異文化間コミュニケーション Intercultural Understanding through Image 映像を通じて見る異文化 Language and Administration across Cultures	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目を追加(27)
兼担	教授	鈴木 猛康 (55)	平成24年4月	自然災害と都市防災						
兼担	教授	藤原 嘉文 (55)	平成24年4月	音楽の即興表現						
兼担	教授	松森 靖夫 (55)	平成24年4月	子どもと自然					自然に対する子どもの眼 差し 子どもと自然	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
兼担	教授	村松 俊夫 (55)	平成24年4月	かたちの不思議と幾何学的デザイン					幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的 デザイン	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
兼担	教授	小畑 文也 (54)	平成24年4月	依存の科学						
兼担	教授	Groemer Gerald (54)	平成24年4月	東洋音楽鑑賞						
兼担	教授	佐藤 博 (54)	平成24年4月	材料と技術					材料と技術 基本市場の役割と経済効果	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
兼担	教授	田中 功 (54)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						

					兼任	教授	秋津 哲也 (63)	平成26年4月	家庭の中のエレクトロニクス	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
					兼任	教授	小林 康江 (50)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
					兼任	教授	川原 敦雄 (48)	平成26年4月	生命科学演習	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
					兼任	教授	高山 一郎 (50)	平成26年4月	生活と健康Ⅱ 高山教授の医学的教養講座	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
					兼任	教授	尾藤 章雄 (57)	平成27年4月	山梨学	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	教授	大淵 竜太郎 (56)	平成27年4月	人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	教授	鈴木 良弥 (52)	平成27年4月	メカトロニクス	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	教授	佐藤 眞久 (62)	平成27年4月	eラーニングを用いた自主学習	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
					兼任	教授	安達 登 (49)	平成27年4月	人体の生命科学	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	教授	藤田 博康 (50)	平成27年4月	非行・問題行動の心理学	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
					兼任	教授	豊木 博泰 (59)	平成27年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
					兼任	教授	成瀬 弘 (60)	平成27年4月	離散数学入門	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
兼任	特任教授	渡辺 研次 (59)	平成24年4月	人間形成論※ 職業選択支援プログラム※ キャリア形成論					人間形成論※ *2025年度より科目名称を変更 キャリア形成論	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (27) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
兼任	准教授	細谷 正一 (64)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス	兼任	准教授	細谷 正一 (64)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス	平成25年3月退職 (25)
兼任	准教授	滝口 晴生 (60)	平成24年4月	英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング(基礎) eラーニングⅣ 映像を通じて見る異文化		教授			英語A中級 英語AⅡ 英語B初級 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング(基礎) eラーニングⅣ Inter-cultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化 英語リーディング・ライティング eラーニングⅡ	准教授から教授に昇任 (26) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により廃止 (25) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
兼任	准教授	秋山 高二 (59)	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング					英語AⅠ 英語A中級 英語AⅡ 英語B初級 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (25) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
兼任	准教授	宮永 義夫 (59)	平成24年4月	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ ドイツ語Intensive90-Ⅰ ドイツ語Intensive90-Ⅱ		教授			ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ ドイツ語Intensive90-Ⅰ ドイツ語Intensive90-Ⅱ ドイツ語Intensive60-Ⅰ ドイツ語Intensive60-Ⅱ ドイツ語中級Ⅰ (2025年度)	准教授から教授に昇任 (27) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
兼任	准教授	石垣 武久 (58)	平成24年4月	地球の見方						
兼任	准教授	加藤 伊陽子 (58)	平成24年4月	ウイルスと人間B					ウイルスの生命科学 ウイルスと人間	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28) カリキュラムの整備により科目名称を変更 (24)
兼任	准教授	阿部 茂 (56)	平成24年4月	教育史を通して見る日本の近代現代						
兼任	准教授	木村 はるみ (55)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ ダンス・セラピー						

兼担	准教授	綿打 敏司 (43)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス							
兼担	准教授	澤田 知香子 (42)	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅢ 英語BⅠ 総合英語 <small>英語リーディング・ライティング(上級)</small>					英語A初級 英語AⅠ 英語A上級 英語AⅢ 英語B初級 英語BⅠ 総合英語 <small>英語リーディング・ライティング(上級)</small>	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)	
兼担	准教授	芹澤 如比古 (42)	平成24年4月	水圏植物の生物学							
兼担	准教授	田中 武夫 (42)	平成24年4月	英語AⅢ 英語BⅢ 総合英語 e-ラーニングⅠ 映像を通じて見る異文化		教授 准教授			英語A上級 英語AⅢ 英語B上級 英語BⅢ 総合英語 e-ラーニングⅠ Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	准教授から教授に昇任(27) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25)	
兼担	准教授	坪内 淳 (42)	平成24年4月	世界近現代史の潮流と日本		講師 准教授			世界近現代史の潮流と日本 新聞から世界を眺む	准教授から講師に職位変更(27) 担当教員の退職のため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
兼担	准教授	秋山 麻実 (41)	平成24年4月	子どもとジェンダー 映像を通じて見る異文化					子どもとジェンダー 映像を通じて見る異文化	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)	
兼担	准教授	小川 和也 (41)	平成24年4月	これからの機械技術	兼担	准教授	小川 和也 (41)	平成24年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)	
兼担	准教授	木島 章文 (41)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ					生活と健康Ⅰ 頭と身体の運動学 生活と健康Ⅱ 生活と健康Ⅰ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当科目を変更(24) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)	
兼担	准教授	渡邊 雅俊 (41)	平成24年4月	こころと体の障害の理解と支援	兼担	准教授	渡邊 雅俊 (41)	平成24年4月	こころと体の障害の理解と支援	平成26年3月退職(26)	
兼担	准教授	小島 千か (40)	平成24年4月	音楽の分析と表現							
兼担	准教授	齊藤 成彦 (40)	平成24年4月	自然災害と都市防災							
兼担	准教授	高橋 英児 (40)	平成24年4月	教育問題から見た現代社会							
兼担	准教授	野原 慎士 (40)	平成24年4月	【環】地球環境化学とエネルギー					地球環境化学とエネルギー	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)	
兼担	准教授	酒井 厚 (39)	平成24年4月	パーソナリティ心理学	兼担	准教授	酒井 厚 (39)	平成24年4月	パーソナリティ心理学	平成27年3月退職(27)	
兼担	准教授	武井 貴弘 (39)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス		教授				准教授から教授に昇任(26)	
兼担	准教授	新野 貴則 (39)	平成24年4月	文化記号論					芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想	カリキュラムの整備により科目を変更(26) カリキュラムの整備により科目を変更(24)	
兼担	准教授	小池 健二 (38)	平成24年4月	数学的見方							
兼担	准教授	鍋島 英知 (38)	平成24年4月	人間とコンピュータ	兼担	准教授	鍋島 英知 (38)	平成24年4月	人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)	
兼担	准教授	藤原 真史 (38)	平成24年4月	現代日本の政治と政策							
兼担	准教授	有元 圭介 (37)	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス							
兼担	准教授	小俣 昌樹 (37)	平成24年4月	人間とコンピュータ	兼担	准教授	小俣 昌樹 (37)	平成24年4月	人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)	
兼担	准教授	吉田 純司 (37)	平成24年4月	自然災害と都市防災							
兼担	准教授	清野 辰彦 (35)	平成24年4月	子どもと事象の数理	兼任 兼担	講師 准教授			数学に対する子どもの 眼差し 子どもと事象の数理	准教授から講師に職位変更(27) カリキュラムの整備により科目を変更(26)	
兼担	准教授	田甫 綾野 (35)	平成24年4月	保育・子育ての現在	兼担	准教授	田甫 綾野 (35)	平成24年4月	保育・子育ての現在	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)	

			兼担 准教授	尾見 康博 (45)	平成24年4月	人間理解の心理学 社会と文化の心理学	准教授から教授に昇任 (26) カリキュラムの整備により科目を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
			兼担 准教授	大内 邦靖 (45)	平成24年4月	吹奏楽の楽しみ 演奏・指揮学～管打楽器の特性と演奏の留意点～ 楽典～楽理学～管打楽器の特性と演奏的留意点～	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (27) カリキュラムの整備により廃止 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
			兼担 准教授	長谷川 千秋 (41)	平成24年4月	日本語表現の現在 東本市場の役割と証券投資	カリキュラムの整備により科目を追加 (24) カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
			兼担 准教授	渡邊 暁 (40)	平成24年4月	スペイン語初級 I スペイン語初級 II スペイン語演習 I スペイン語演習 II スペイン語中級 I スペイン語中級 II スペイン語中級 I (総合A) スペイン語中級 I (総合B) スペイン語中級 II (総合A) スペイン語中級 II (総合B) 映画論的地域研究入門 ラテンアメリカから見た世界	カリキュラムの整備により科目を追加 (24) カリキュラムの整備により科目を追加 (24) カリキュラムの整備により科目を追加 (24) カリキュラムの整備により科目を追加 (24) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
			兼担 准教授	佃 俊明 (37)	平成24年4月	光る分子の科学	カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
			兼担 准教授	武末 裕子 吉澤 裕子 (35)	平成24年4月	暮らしの中の美と形	改姓のため (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
			兼担 准教授	森元 拓 (43)	平成25年4月	日本国憲法	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	服部 元信 (43)	平成25年4月	人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	吉原 正一郎 (42)	平成25年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	松本 聡子 (42)	平成25年4月	保育・子育ての現在	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	金 蓮花 (41)	平成25年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	野田 善之 (40)	平成25年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (25)
			兼担 准教授	木下 雄一郎 (34)	平成26年4月	人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	田雨 綾野 (37)	平成26年4月	保育・子育ての現在	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	古屋 義博 (48)	平成26年4月	発達と障害	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
			兼担 准教授	吉井 勤人 (38)	平成26年4月	幼児期における特別支援教育	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
			兼担 准教授	大木 志門 (39)	平成26年4月	日本の近代文学	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
			兼担 准教授	神山 久美 (49)	平成26年4月	消費生活論 生活と健康 II	カリキュラムの整備により科目を追加 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
			兼担 准教授	佐藤 寛之 (42)	平成26年4月	科学に対する子どもの観望し	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
			兼担 准教授	仲本 康一郎 (46)	平成26年4月	日本語中級 I A 日本語中級 II A 日本語初級 I A 日本語中上級 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	山本 義暢 (40)	平成26年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	伊藤 安海 (43)	平成26年4月	これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	安藤 英俊 (50)	平成26年4月	生活と健康 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
			兼担 准教授	岡村 美好 (55)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成 メカトロニクス	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
			兼担 准教授	Napier Charles Anthony (45)	平成26年4月	英語オーラルコミュニケーション 英語A中級 英語A上級 英語B初級 英語B上級	平成26年8月退職 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)~ カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)~ カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)~ カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)~ カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)~

兼任	特任 准教授	Allen Gerard (64)	平成24年4月	英語BⅢ TOEFLⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) Intensive15-I(英語) Intensive15-II(英語) Intensive90-I(英語)				英語B上級 英語BⅢ English for Studying Abroad Ⅱ TOEFLⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) Intensive15-I(英語) Intensive15-II(英語) Intensive90-I(英語) 英語A上級 Intensive60-I(英語) 英語A中級 英語B中級	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(28) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(28) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目を追加(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
兼任	特任 准教授	Klousia Paul Hegland (60)	平成24年4月	TOEFLⅠ 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) e-ラーニングⅢ Intensive15-I(英語) Intensive15-II(英語) Intensive90-II(英語)				English for Studying Abroad Ⅰ TOEFLⅠ 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) e-ラーニングⅢ Intensive15-I(英語) Intensive15-II(英語) Intensive90-II(英語) Intensive60-II(英語) International Understanding through Issues 英語オーラルコミュニケーション 英語リーディング・ライティング(上級)	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	安藤 大輔 (35)	平成27年4月				生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ 健康とスポーツの科学	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により科目を追加(27)		
	兼任	准教授	Philip Graham (44)	平成26年10月				英語A中級 英語A上級 英語B初級 英語B上級 総合英語 英語オーラルコミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	岡松 恵 (46)	平成27年4月				日本服飾史	カリキュラムの整備により科目を追加(27)		
	兼任	准教授	上原 究一 (35)	平成27年4月				中国の古典文学を読む	カリキュラムの整備により科目を追加(27)		
	兼任	准教授	渡辺 喜道 (51)	平成27年4月				人間とコンピュータ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	鳥山 孝司 (41)	平成27年4月				これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	青柳 潤一郎 (36)	平成27年4月				これからの機械技術	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	東海林 篤 (42)	平成27年4月				クリスタルサイエンス	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)		
	兼任	准教授	森長 久豊 (42)	平成27年4月				プラスチックの科学	カリキュラムの整備により科目を追加(27)		
兼任	講師	伊藤 美佳 (48)	平成24年4月	こころの健康づくり							
兼任	講師	塚越 奈美 (33)	平成24年4月	人間理解の心理学		准教授			講師から准教授に昇任(26)		
	兼任	講師	後藤 賢次郎 (30)	平成26年4月				キャリア形成のための作文指導	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)		
	兼任	講師	大森 真紀子 (55)	平成26年4月				理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)		
	兼任	准教授 講師	伊藤 孝恵 (41)	平成26年4月				日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ 日本語中級ⅠB 日本語中級ⅡB	講師から准教授に職位変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)		
	兼任	准教授 講師	江崎 哲也 (42)	平成26年4月				日本語初中級ⅠB 日本語初中級ⅡB 日本語上級Ⅰ 日本語上級Ⅱ 日本語演習A	講師から准教授に職位変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)		
兼任	助教	坂野 斎 (50)	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス		兼任	助教	坂野 斎 (50)	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼任	助教	米崎 功記 (35)	平成24年4月	クリスタルサイエンス		准教授		クリスタルサイエンス ワインと宝石	助教から准教授に昇任(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)		

兼任	講師	水津 有理 (46)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ	兼任	講師	水津 有理 (46)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	後藤 奈智子 (46)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	兼任	講師	後藤 奈智子 (46)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更・兼任決定(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更・兼任決定(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更・兼任決定(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	林 吟貞 (45)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ					中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ <small>中国語中級Ⅰ(コミュニケーション) 中国語中級Ⅱ(コミュニケーション)</small>	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	藤田 理佳 (45)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	島崎 朋子(45)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	伊藤 千草(43)	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅠ <small>英語リーディング・ライティング</small>					英語AⅠ 英語BⅠ <small>英語リーディング・ライティング</small> 英語A中級 英語B中級	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	吉原 太郎(43)	平成24年4月	電子音楽の世界						
兼任	講師	後藤 英明(43)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	仲本 直美(42)	平成24年4月	<small>英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション</small>					<small>英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション 英語リーディング・ライティング 英語Mリーディング・ライティング</small>	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼任	講師	今井 理恵(41)	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 総合英語 <small>英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション</small>					英語A初級 英語AⅠ 英語A中級 英語AⅡ 英語B初級 英語BⅠ 英語B中級 英語BⅡ 総合英語 <small>英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション</small>	カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼任	講師	齋藤 正雄(41)	平成24年4月	天文学への誘い	兼任	講師	齋藤 正雄 (41)	平成24年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	平田 眞一朗(38)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語中級Ⅰ(総合) 中国語中級Ⅱ(総合)					中国語演習Ⅰ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)
兼任	講師	大辻 富実佳(37)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 中国語中級Ⅰ(総合) 中国語中級Ⅱ(総合)						
兼任	講師	伊王野 大介(37)	平成24年4月	天文学への誘い	兼任	講師	伊王野 大介 (37)	平成24年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	Maloney Joshua Alexander(36)	平成24年4月	英語オーラルコミュニケーション					英語オーラルコミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼任	講師	付 立力(34)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ <small>中国語中級Ⅰ(コミュニケーション) 中国語中級Ⅱ(コミュニケーション)</small>						
兼任	講師	荒木 達雄 (32)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	兼任	講師	荒木 達雄 (32)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	前田 真砂美(31)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	兼任	講師	前田 真砂美 (31)	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
兼任	講師	西川 小百合(31)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ	兼任	講師	西川 小百合 (31)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
兼任	講師	山北 満哉(30)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ	兼任	講師	山北 満哉 (30)	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)

兼任	講師	Brown Jonathan David(27)	平成24年4月	英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション Intensive15-I (英語) Intensive15-II (英語)	兼任	講師	Brown Jonathan David (27)	平成24年4月	英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション Intensive15-I (英語) Intensive15-II (英語) 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により廃止(25)
					兼任	講師	井上 範夫 (65)	平成24年4月	フランス語中級Ⅰ(総合) フランス語中級Ⅱ(総合) フランス語初級Ⅰ フランス語初級Ⅱ フランス語中級演習Ⅰ フランス語中級演習Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	Martin Anne-lise (44)	平成24年4月	フランス語中級Ⅰ(総合) フランス語中級Ⅱ(総合) フランス語Intensive90-I フランス語Intensive90-II フランス語初級Ⅰ フランス語初級Ⅱ フランス語Intensive60-I フランス語Intensive60-II	カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により科目を追加(25) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
					兼任	講師	後藤 典子 (50)	平成25年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	武藤 英 (49)	平成25年4月	放射線と現代	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	劉 頌浩 (46)	平成25年4月	中国語Intensive6-I 中国語Intensive6-II	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	ネピア・C (45)	平成26年4月	英語A中級 英語A上級 英語B初級 英語B上級 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	平成26年8月退職(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	角田 聡美 (42)	平成25年4月	生活と健康Ⅰ スポーツエンゲージメント スポーツとエンゲージメント 生活と健康Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	西合一矢 (39)	平成25年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	酒井 剛 (37)	平成25年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	小泉 由里 (36)	平成25年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	永井 洋 (33)	平成25年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	長谷川 賢 (32)	平成25年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25)
					兼任	講師	西宮 藍子 (27)	平成25年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	木内 正孝 (26)	平成26年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26) カリキュラムの整備により担当教員を変更(27)
					兼任	講師	戸田 達昭 (29)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	島浦 幸夫 (55)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(27) カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	小宮 輝之 (65)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	佐藤 正幸 (66)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)
					兼任	講師	松木 上次 (64)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更(26)

				兼任	講師	宮島 雅展 (67)	平成26年4月	人間形成論	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	中村 正道 (64)	平成26年4月	生活と健康 I 生活と健康 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	濱田 和範 (33)	平成26年4月	スペイン語初級 I スペイン語初級 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	深澤 晴奈 (34)	平成26年4月	スペイン語初級 I スペイン語初級 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	小森 真也 (31)	平成26年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	八代 一浩 (51)	平成26年4月	思考の整理術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	尾形 美貴 (37)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	Rylands Oria Maria (59)	平成26年4月	英語MC 英語MD	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	高橋 真理子 (43)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成 科学・デザイン・コミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	辻 篤子 (59)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	平口 暢子 (43)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	横山 広美 松尾 広美 (37)	平成26年4月	科学・デザイン・コミュニケーション	改姓のため (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	馬場 一子 (66)	平成26年4月	科学・デザイン・コミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	平田 光司 (62)	平成26年4月	科学・デザイン・コミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	付 立華 (36)	平成26年4月	中国語初級 I 中国語初級 II 中国語特1 (コミュニケーション) 中国語特2 (コミュニケーション)	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	塩満 典子 (52)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	廣瀬 由紀 (52)	平成26年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	Smith Robert Thomas (39)	平成26年4月	英語A中級 英語B中級	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	竹端 寛 (38)	平成26年4月	思考の整理術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	関野 陽一 (60)	平成26年4月	思考の整理術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	中山 友江 (66)	平成26年4月	思考の整理術	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (26)
				兼任	講師	新井 孝子 (62)	平成27年4月	生活と健康 I	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	長野 康平 (26)	平成27年4月	生活と健康 I	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	古川 勇気 (31)	平成27年4月	スペイン語初級 I スペイン語初級 II スペイン語演習 I スペイン語演習 II	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27) カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	大隅 亜希子 (44)	平成27年4月	日本古代の政治と文化	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	里見 達也 (46)	平成27年4月	特別支援教育総論	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	串田 賢一 (45)	平成27年4月	科学・デザイン・コミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	天野 忠夫 (58)	平成27年4月	科学・デザイン・コミュニケーション	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
				兼任	講師	小西 貴士 (40)	平成27年4月	現代子ども論	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)

					兼任	講師	秋山 永治 (41)	平成27年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	講師	廿日出 文洋 (33)	平成27年4月	天文学への誘い	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)
					兼任	講師	室伏 きみ子 (68)	平成27年4月	理系女性のキャリア形成	カリキュラムの整備により担当教員を変更 (27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ 意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (23年10月)	【地域食物科学科】 専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、科目開設時までに確実に専任教員を配置すること。	その他意見 平成24年1月教員資格審査において担当「可」判定 「ワイン科学Ⅰ」(可) 「ワイン科学Ⅱ」(可) 「ワイン科学ゼミⅠ」(可) (24) 学科名を「地域社会システム学科」に変更(平成23年10月届出)(24) 「労働法」を「雇用と法」に、「商法」を「企業と法」に科目名称及び授業内容を変更 平成24年10月教員資格審査において担当「可」判定 「雇用と法」(可) 平成25年2月教員資格審査において担当「可」判定 「企業と法」(可) (25) 「マーケティングと消費者行動」の兼任教員を補充することについて、平成24年10月教員資格審査において担当「可」判定 「マーケティングと消費者行動」(可) 「民法総論」及び「企業と法」の専任教員を補充することについて、平成25年2月教員資格審査において担当「可」判定 「民法総論」(可) 「企業と法」(可) (25) 「保留」とされた4授業科目について、平成25年8月教員資格審査において担当「可」判定 「地域社会システム学セミナーⅠ」(可) 「地域社会システム学セミナーⅡ」(可) 「地域社会システム学演習」(可) 「地域社会システム学卒業論文」(可) (26)	平成24年1月教員資格審査において担当「可」判定 「ワイン科学Ⅰ」(可) 「ワイン科学Ⅱ」(可) 「ワイン科学ゼミⅠ」(可) (24)	
	【社会経営学科】 1. 法律・政治・経営・経済を包含する学科名称としては、「社会経営学」という名称は整合的でないため、カリキュラムや学位名称に即した学科名称を再度検討すること。		3授業科目の科目名称を変更する。 平成24年8月教員資格審査を提出予定 (24)	
	【社会経営学科】 2. 科目について、伝統的な法学部の科目編成ではなく、学科の目的に即した、企業経営や地方行政に関連する科目名称及び内容になるよう検討すること。		2授業科目の専任教員を新たに採用する。 平成24年8月教員資格審査を提出予定 (24)	
【社会経営学科】 3. 教員の補充を必要とされた3科目については、科目開設時までに教員の配置を行うこと。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	「保留」とされた4授業科目について、平成25年8月教員資格審査を提出予定 (25)			
設置計画履行状況 調 査 時 (25年1月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)	該当なし			

- (注)
- ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生命環境学部 生命工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学委員会及び学部委員会を設置している。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会（別紙1：「山梨大学全学教育FD委員会規程」） Eラーニング・プロジェクト(別紙2：「山梨大学教育企画評価委員会規程」)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会（別紙3：「山梨大学大学院総合研究部生命環境学域各種委員会内規」）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>生命環境学部所属教員が参加した委員会は以下のとおりである。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会 2回（平成26年9月8日開催、平成26年11月26日開催）(生命環境学部委員2名)</p> <p style="padding-left: 40px;">Eラーニング・プロジェクト 2回（平成26年5月14日開催、10月28日開催） (生命環境学部委員2名)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会 4回開催（平成26年4月24日開催、6月5日開催、10月16日開催、平成27年3月19日開催）(委員7名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会・・・FD活動の企画案について Eラーニング・プロジェクト委員会・・・e-ラーニング講習、Moodle活用について</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会・・・年度実施計画、FD研修会、授業の振り返りシート等について</p>
--

実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会
- ・授業評価アンケート

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(生命環境学部FD研修会、各学科FD研修会)

〔生命工学科〕

- ・学科FD研究会(情報交換・意見交換)

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(年2~4回実施)(主催:全学教育FD委員会、形式:講義形式、場所:メディア館多目的ホール)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(年2~3回実施)(主催: Eラーニング・プロジェクト、形式:講義形式、場所:情報メディア館)
- ・授業評価アンケート(前後期各1回実施)(主催:教育企画評価委員会)

〔生命環境学部〕

- ・生命環境学部FD研修会(年1~2回実施)(主催:生命環境学部FD委員会、形式:講演形式、場所:S1-111教室)

〔生命工学科〕

- ・学科FD研修会(年2回実施)(形式:討議形式、場所:S1-13講義室、S2-104ゼミ室)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(平成26年9月29日開催 56名参加、12月11日開催 28名参加、平成27年3月3日開催 54名参加)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(平成26年5月27日開催 13名参加、12月12日開催 28名参加、平成27年1月21日開催 13名参加)
- ・授業評価アンケート(学生に対して前後期各1回、授業評価アンケートの実施)

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(平成26年7月30日開催「本学部学生の実像を共有し、その指導、支援を考える」50名参加)

〔生命工学科〕

- ・学科FD研修会(平成26年9月30日開催 11名参加、平成27年2月24日開催 15名参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状の課題等に関し、教員間で情報交換、意見交換を行う。これにより、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施(平成26年度は7月と12月)

b 教員や学生への公開状況,方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開は実施しない。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成26年7月と平成27年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表した。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成27年7月と平成28年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表する予定。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科の4学科構成で、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、地域社会の持続的な繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野をもち、地球規模の食料、環境問題などの解決に貢献できる実践的専門職業人を養成することを目指して、平成24年4月からこれまで教育課程を設置計画どおりに実施してきている。平成27年3月に専任教員2名が定年を迎えたため、AC教員審査を受け平成27年4月1日付けで教授1名と助教1名の採用人事、及び助教から准教授への昇任人事(2名)を行い、平成27年度においても設置計画どおりに教育課程できる体制を維持している。新入生対象のアンケート調査を毎年度実施しており、その結果を踏まえて、教育方法及び入試広報のあり方を検討している。平成26年度においても、学部FD研修会及び学科FD研修会を実施し、学部及び各学科が目指す「生命・食・環境・経営」に関する実践教育を実現するための授業内容及び方法の改善に努めている。平成27年度は、いわゆる完成年度となり、設置の趣旨を具現化し目標達成へ向けた取り組みを粛々と進めており、平成28年3月には、最初の卒業生を社会に送り出すこととなる。現在、就職支援を行うとともに、大学院修士課程の設置準備を進めている。以上のことから、本学部の4年目の状況としては順調に進捗していると考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年5月末 公表予定

(自己点検・評価は、平成27年度内に終了予定とし、その結果を公表する)

b 公表方法

・生命環境学部ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成26年度に機関別認証評価を受審し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を得た。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成27年9月1日公表予定)

山梨大学全学教育 F D 委員会規程

制定 平成 26 年 1 2 月 2 4 日

(趣旨)

第 1 条 山梨大学に、教育の向上及び能力開発に関する恒常的な検討を行い、その質的充実を図ることを目的として山梨大学全学教育 F D (ファカルティ・ディベロップメント(以下「F D」という。))委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 大学、大学院教育の組織的改善に関する事項
- (2) 教員の教育活動に係る専門能力向上のための企画及びその実施・評価に関する事項
- (3) 学域、研究科等が実施する F D 活動の支援に関する事項
- (4) その他 F D 活動に関し必要な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 大学教育センター長
- (2) 各学域の F D に関する委員会の委員長及び副委員長
- (3) 大学教育センター専任教員 1 人
- (4) 教学支援部長
- (5) その他委員会が必要と認めた者

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、大学教育センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第 5 条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、開催することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第 6 条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、教学支援部教務課において処理する。

(雑則)

第 8 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定

める。

附 則

- 1 この規程は、平成26年12月24日から施行し、平成26年10月1日から適用する。
- 2 山梨大学全学教育FD委員会規程（平成21年10月21日制定）は廃止する。

山梨大学教育企画評価委員会規程

制定 平成26年12月24日

(趣旨)

第1条 山梨大学に、教育及び学生支援に関する諸データの分析、情報提供及び助言等を行い、教育の質の向上を図り、教育目標を達成することを目的として、山梨大学教育企画評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議・実施する。

- (1) 大学・大学院教育及び学生支援に係る戦略的な企画・立案に関する事項
- (2) 大学・大学院教育及び学生支援の評価方法に係る研究・開発及び評価の企画・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価に関する事項
- (4) その他教育企画評価の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 大学教育センター長
- (2) 各学域教務に関する委員会副委員長 各1人
- (3) 大学教育センター専任教員 1人
- (4) 第7条に規定するプロジェクトチームの代表 各1人
- (5) 教学支援部教務課長
- (6) その他委員会が必要と認めた者

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、大学教育センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、開催することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(プロジェクトチーム)

第7条 第2条に規定する事項を処理するため、委員会に次のプロジェクトチームを置く。

- (1) e-ラーニングプロジェクトチーム
- (2) 教学IR推進プロジェクトチーム
- (3) アクティブラーニング導入プロジェクトチーム

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教学支援部教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成26年12月24日から施行し、平成26年10月1日から適用する。
- 2 山梨大学教育企画評価委員会規程（平成26年3月27日制定）は廃止する。

山梨大学大学院総合研究部生命環境学域各種委員会内規

制定 平成27年1月15日

(趣旨)

第1条 この内規は、山梨大学大学院総合研究部学域運営会議要項第9条第2項の規定に基づき、生命環境学域各種委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定める。

(委員会)

第2条 生命環境学域に、別表に掲げる委員会を置く。

2 委員会の運営に関する必要事項は、別表に定めるとおりとする。

3 各委員会の委員は、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 必要に応じ、別表以外の委員会を置くことができる。

(委員長)

第3条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第4条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が、必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、総務部生命環境学部支援課において処理する。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、各委員会が別に定める。

附 則

1 この内規は、平成27年1月15日から施行し、平成26年10月1日から適用する。

2 山梨大学大学院医学工学総合研究部生命環境系学域各種委員会規程(平成24年3月30日制定)は廃止する。

別表

委員会の名称	主な審議事項	組織	任期	委員長
入試委員会	・入学試験に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名	2 年	委員の互選(教授)
教学委員会	・学生の教育に関する事項 ・学生の厚生及び補導に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名	2 年	評議員
広報委員会	・広報に関する事項(入試広報を含む) ・ホームページの運営に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名 なお、委員長所属学科は、教授、准教授又は講師のいずれか 1 名とする。	2 年	評議員
自己点検・評価委員会	・自己点検・評価に関する事項	各学科 教授 1 名 但し、地域社会システム学科は教授、准教授又は講師のいずれか 1 名を加え、2 名とする。 なお、委員長所属学科は、教授、准教授又は講師のいずれか 1 名とする。	2 年	副学部長
F D 委員会	・F D 活動に関する事項	医学部教授 1 名 各学科 教授 1 名 但し、地域社会システム学科は教授、准教授又は講師のいずれか 1 名を加え、2 名とする。 なお、委員長所属学科は、教授、准教授又は講師のいずれか 1 名とする。	2 年	副学部長
予算委員会	・予算配分に関すること	各学科 教授 1 名 なお、学科長が兼ねることができる。	1 年	学部長
就職支援委員会	・学生の就職支援に関すること。	各学科 教授、准教授又は講師のいずれか 1 名	2 年	委員の互選
倫理委員会	ヒトを直接対象とした研究等について、ヘルシンキ宣言等の趣旨に照らして検討し、審査する。	各学科 教授 1 名	2 年	副学部長
生命環境学部附属農場運営委員会	・附属農場の運営に関する事項	各学科 教授、准教授又は講師のいずれか 1 名	2 年	農場長

7 その他全般的事項

< 生命環境学部 地域食物科学科 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学委員会及び学部委員会を設置している。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会（別紙1：「山梨大学全学教育FD委員会規程」） Eラーニング・プロジェクト(別紙2：「山梨大学教育企画評価委員会規程」)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会（別紙3：「山梨大学大学院総合研究部生命環境学域各種委員会内規」）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>生命環境学部所属教員が参加した委員会は以下のとおりである。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会 2回（平成26年9月8日開催、平成26年11月26日開催）(生命環境学部委員 2名)</p> <p style="padding-left: 40px;">Eラーニング・プロジェクト 2回（平成26年5月14日開催、10月28日開催） (生命環境学部委員 2名)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会 4回開催（平成26年4月24日開催、6月5日開催、10月16日開催、平成27年3月19日開催）(委員 7名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会・・・FD活動の企画案について Eラーニング・プロジェクト委員会・・・e-ラーニング講習、Moodle活用について</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会・・・年度実施計画、FD研修会、授業の振り返りシート等について</p>

実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会
- ・授業評価アンケート

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(生命環境学部FD研修会、各学科FD研修会)

〔地域食物科学科〕

- ・学科FD研究会(情報交換・意見交換)

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(年2~4回実施)(主催:全学教育FD委員会、形式:講義形式、場所:メディア館多目的ホール)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(年2~3回実施)(主催: E-ラーニング・プロジェクト、形式:講義形式、場所:情報メディア館)
- ・授業評価アンケート(前後期各1回実施)(主催:教育企画評価委員会)

〔生命環境学部〕

- ・生命環境学部FD研修会(年1~2回実施)(主催:生命環境学部FD委員会、形式:講演形式、場所:S1-11教室)

〔地域食物科学科〕

- ・学科FD研修会(年3回実施)(形式:講演形式、討議形式、講習形式、場所:情報メディア館多目的ホール、S2-104ゼミ室)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(平成26年9月29日開催 56名参加、12月11日開催 28名参加、平成27年3月3日開催 54名参加)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(平成26年5月27日開催 13名参加、12月12日開催 28名参加、平成27年1月21日開催 13名参加)
- ・授業評価アンケート(学生に対して前後期各1回、授業評価アンケートの実施)

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(平成26年7月30日開催「本学部学生の実像を共有し、その指導、支援を考える」50名参加)

〔地域食物科学科〕

- ・学科FD研修会(平成26年7月9日開催 13名参加、平成27年1月7日開催 12名参加、1月27日開催 11名参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状の課題等に関し、教員間で情報交換、意見交換を行う。これにより、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施(平成26年度は7月と12月)

b 教員や学生への公開状況,方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開は実施しない。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成26年7月と平成27年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表した。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成27年7月と平成28年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表する予定。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科の4学科構成で、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、地域社会の持続的な繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野をもち、地球規模の食料、環境問題などの解決に貢献できる実践的専門職業人を養成することを目指して、平成24年4月からこれまで教育課程を設置計画どおりに実施してきている。平成27年3月に専任教員2名が定年を迎えたため、AC教員審査を受け平成27年4月1日付けで教授1名と助教1名の採用人事、及び助教から准教授への昇任人事(2名)を行い、平成27年度においても設置計画どおりに教育課程できる体制を維持している。新入生対象のアンケート調査を毎年度実施しており、その結果を踏まえて、教育方法及び入試広報のあり方を検討している。平成26年度においても、学部FD研修会及び学科FD研修会を実施し、学部及び各学科が目指す「生命・食・環境・経営」に関する実践教育を実現するための授業内容及び方法の改善に努めている。平成27年度は、いわゆる完成年度となり、設置の趣旨を具現化し目標達成へ向けた取り組みを粛々と進めており、平成28年3月には、最初の卒業生を社会に送り出すこととなる。現在、就職支援を行うとともに、大学院修士課程の設置準備を進めている。以上のことから、本学部の4年目の状況としては順調に進捗していると考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年5月末 公表予定

(自己点検・評価は、平成27年度内に終了予定とし、その結果を公表する)

b 公表方法

・生命環境学部ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成26年度に機関別認証評価を受審し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を得た。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成27年9月1日公表予定)

7 その他全般的事項

< 生命環境学部 環境科学科 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
『期待する入学者像』 「高等学校で履修した物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語が修得できていることを求めます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを望んでいます。」	その他意見を踏まえ、『期待する入学者像』を修正した。 「高等学校で履修した物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。」
『資源循環型ものづくり実習』のシラバス（別紙ア）	その他意見を踏まえ、『資源循環型ものづくり実習』のシラバスの「授業計画の概要」に、自然循環の内容等を追加した。（別紙イ）

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学委員会及び学部委員会を設置している。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会（別紙1：「山梨大学全学教育FD委員会規程」） Eラーニング・プロジェクト（別紙2：「山梨大学教育企画評価委員会規程」） 〔生命環境学部〕FD委員会（別紙3：「山梨大学大学院総合研究部生命環境学域各種委員会内規」）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>生命環境学部所属教員が参加した委員会は以下のとおりである。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会 2回（平成26年9月8日開催、平成26年11月26日開催）（生命環境学部委員2名） Eラーニング・プロジェクト 2回（平成26年5月14日開催、10月28日開催） （生命環境学部委員2名） 〔生命環境学部〕FD委員会 4回開催（平成26年4月24日開催、6月5日開催、10月16日開催、平成27年3月19日開催）（委員7名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会・・・FD活動の企画案について Eラーニング・プロジェクト委員会・・・e-ラーニング講習、Moodle活用について 〔生命環境学部〕FD委員会・・・年度実施計画、FD研修会、授業の振り返りシート等について</p>

実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会
- ・授業評価アンケート

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(生命環境学部FD研修会、各学科FD研修会)

〔環境科学科〕

- ・学科FD研究会(情報交換・意見交換)

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(年2~4回実施)(主催:全学教育FD委員会、形式:講義形式、場所:メディア館多目的ホール)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(年2~3回実施)(主催: E-ラーニング・プロジェクト、形式:講義形式、場所:情報メディア館)
- ・授業評価アンケート(前後期各1回実施)(主催:教育企画評価委員会)

〔生命環境学部〕

- ・生命環境学部FD研修会(年1~2回実施)(主催:生命環境学部FD委員会、形式:講演形式、場所:S1-11教室)

〔環境科学科〕

- ・学科FD研修会(年2回実施)(形式:討議・情報交換形式、場所:学科会議室、ゼミ室、学外)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(平成26年9月29日開催 56名参加、12月11日開催 28名参加、平成27年3月3日開催 54名参加)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(平成26年5月27日開催 13名参加、12月12日開催 28名参加、平成27年1月21日開催 13名参加)
- ・授業評価アンケート(学生に対して前後期各1回、授業評価アンケートの実施)

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(平成26年7月30日開催「本学部学生の実像を共有し、その指導、支援を考える」50名参加)

〔環境科学科〕

- ・学科FD研修会(平成26年6月13日開催 9名参加、平成27年3月11日開催 10名参加、

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状の課題等に関し、教員間で情報交換、意見交換を行う。これにより、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施(平成26年度は7月と12月)

b 教員や学生への公開状況,方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開は実施しない。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成26年7月と平成27年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表した。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成27年7月と平成28年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表する予定。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科の4学科構成で、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、地域社会の持続的な繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野をもち、地球規模の食料、環境問題などの解決に貢献できる実践的専門職業人を養成することを目指して、平成24年4月からこれまで教育課程を設置計画どおりに実施してきている。平成27年3月に専任教員2名が定年を迎えたため、AC教員審査を受け平成27年4月1日付けで教授1名と助教1名の採用人事、及び助教から准教授への昇任人事(2名)を行い、平成27年度においても設置計画どおりに教育課程できる体制を維持している。新入生対象のアンケート調査を毎年度実施しており、その結果を踏まえて、教育方法及び入試広報のあり方を検討している。平成26年度においても、学部FD研修会及び学科FD研修会を実施し、学部及び各学科が目指す「生命・食・環境・経営」に関する実践教育を実現するための授業内容及び方法の改善に努めている。平成27年度は、いわゆる完成年度となり、設置の趣旨を具現化し目標達成へ向けた取り組みを粛々と進めており、平成28年3月には、最初の卒業生を社会に送り出すこととなる。現在、就職支援を行うとともに、大学院修士課程の設置準備を進めている。以上のことから、本学部の4年目の状況としては順調に進捗していると考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年5月末 公表予定

(自己点検・評価は、平成27年度内に終了予定とし、その結果を公表する)

b 公表方法

・生命環境学部ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成26年度に機関別認証評価を受審し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を得た。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成27年9月1日公表予定)

変更前

授業科目名	資源循環型ものづくり実習		
担当教員名	竹内 智		
科目区分：専門発展科目	対象学生：1年	開講学期：前期	単位数：2単位
授業の到達目標	廃食用油から軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する一連の作業を通して、大量生産・消費・廃棄におけるものづくりからリサイクル社会への移行を体験的に学習する。		
授業の概要	廃食用油から軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する一連の作業を通して、大量生産・消費・廃棄におけるものづくりからリサイクル社会への移行を体験的に学習する。学食や附属学校園、大学病院などから廃食用油を回収する作業やBDFを精製する作業を行う。ナタネやヒマワリの種子から食用油を作りだす搾油を体験し、精製装置の使用電力量を測定してエネルギー使用量を調査する等の環境実践教育を行う。		
授業の方法	実験・実習		
授業計画の概要	<p>第1回 資源循環型ものづくり実習の導入 物理・化学・生物・地学の視点から地球環境とバイオマスについて学習する。</p> <p>第2回 バイオディーゼル燃料(BDF)について BDF のバイオマスとしての特徴及び軽油代替（資源再生型）燃料としての特性について学習する。</p> <p>第3回 精製作業第一段階 大学の BDF 精製装置を利用して廃食用油から BDF を精製するために、学生食堂と附属学校園から廃食用油を回収する。</p> <p>第4回 有価物ゴミ処理 回収した廃食用油の容器（18リットル缶）を有価物ゴミとして処理する。</p> <p>第5回 精製作業第二段階 廃食用油から排出される廃グリセリンと BDF 中に残留している廃グリセリンを回収する。</p> <p>第6回 搾油実習 ナタネやヒマワリの種から搾油を行い、種子の重量と搾油量の関係を調べる。</p> <p>第7回 BDF のコストパフォーマンス 搾油の歩留まりがどれくらいになるのか、人件費や物品費（メタノールや水酸化カリウム等）を含めたコストパフォーマンスを概算する。</p> <p>第8回 BDF の品質管理 精製された BDF の品質を測定し、ポリタンクに輸送する。精製装置で使用された電力料を計測する。</p> <p>第9回 BDF 精製実験 1 メチルエステル化 化学実験室において、メチルエステル化反応を利用して廃食用油から BDF を精製する実験を行う（メタノール）。</p> <p>第10回 BDF 精製実験 2 エチルエステル化 化学実験室において、エチルエステル化反応を利用して廃食用油から BDF を精製</p>		

	<p>する実験を行う(エタノール)。</p> <p>第 11 回 廃グリセリン量の測定 簡易測定キットを利用して、実験で得られた BDF 中に残留している廃グリセリンの量を測定する。</p> <p>第 12 回 アルコールの回収 廃グリセリンから余分なアルコールを蒸留精製によって回収する。</p> <p>第 13 回 エコ石けん作り 廃食用油と水酸化ナトリウム水溶液を混合反応させエコ石けんを作る。</p> <p>第 14 週 日本における再生可能エネルギーの利活用 新エネルギーと再生可能エネルギーの利活用から見えてくる持続可能な社会に向けた展望や課題について学習する。</p> <p>第 15 週 レポート作成指導 レポート課題をまとめ、実習を通して理解したことや意義について考察する。</p>
履修条件	特になし
成績評価の方法 評価基準	<p>[小テスト・レポート課題] 30% 実習の内容をよく理解しているかを評価する。</p> <p>[平常点・受講態度] 70% 実習に取り組む姿勢や態度、実験内容の理解を評価する。</p>
授業の進め方	<p>学食や附属学校園、大学病院などから廃食用油を回収する作業や学内に導入された装置で BDF を精製する作業を行う。ナタネやヒマワリの種子から食用油を作りだす搾油を体験したり、精製装置の使用電力量を測定してエネルギー使用量を調査する。このような環境実践教育を集中して行う。</p>
参考図書	坂志朗 編著者 『バイオディーゼルのすべて』アイピーシー

変更後

授業科目名	資源循環型ものづくり実習		
担当教員名	竹内 智		
科目区分：専門発展科目	対象学生：1年	開講学期：前期	単位数：2単位
授業の到達目標	廃食用油から軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する一連の作業を通して、大量生産・消費・廃棄におけるものづくりからリサイクル社会への移行を体験的に学習する。		
授業の概要	廃食用油から軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する一連の作業を通して、大量生産・消費・廃棄におけるものづくりからリサイクル社会への移行を体験的に学習する。学食や附属学校園、大学病院などから廃食用油を回収する作業やBDFを精製する作業を行う。ナタネやヒマワリの種子から食用油を作りだす搾油を体験し、精製装置の使用電力量を測定してエネルギー使用量を調査する等の環境実践教育を行う。		
授業の方法	実験・実習		
授業計画の概要	<p>第1回 資源循環型ものづくり実習の導入 物理・化学・生物・地学の視点から地球環境とバイオマスについて学習する。説明には、<u>自然循環の内容も盛り込み、循環型社会にとっての資源循環技術の重要性、およびその一例としてバイオディーゼル燃料(BDF)の技術があることを学習するという、科目の目的を説明する。</u></p> <p>第2回 バイオディーゼル燃料(BDF)について BDF のバイオマスとしての特徴及び軽油代替（資源再生型）燃料としての特性について学習する。<u>あわせて、BDF 製造法の原理を例として、自然循環の基礎となる物理的、化学的プロセスを学習する。</u></p> <p>第3回 精製作業第一段階 大学の BDF 精製装置を利用して廃食用油から BDF を精製するために、学生食堂と附属学校園から廃食用油を回収する。</p> <p>第4回 有価物ゴミ処理 回収した廃食用油の容器（18リットル缶）を有価物ゴミとして処理する。</p> <p>第5回 精製作業第二段階 廃食用油から排出される廃グリセリンと BDF 中に残留している廃グリセリンを回収する。</p> <p>第6回 搾油実習 ナタネやヒマワリの種から搾油を行い、種子の重量と搾油量の関係を調べる。</p> <p>第7回 BDF のコストパフォーマンス 搾油の歩留まりがどれくらいになるのか、人件費や物品費（メタノールや水酸化カリウム等）を含めたコストパフォーマンスを概算する。</p> <p>第8回 BDF の品質管理 精製された BDF の品質を測定し、ポリタンクに輸送する。精製装置で使用された電力料を計測する。</p> <p>第9回 BDF 精製実験 1 メチルエステル化 化学実験室において、メチルエステル化反応を利用して廃食用油から BDF を精製</p>		

	<p>する実験を行う(メタノール)</p> <p>第10回 BDF精製実験2 エチルエステル化 化学実験室において、エチルエステル化反応を利用して廃食用油からBDFを精製する実験を行う(エタノール)</p> <p>第11回 廃グリセリン量の測定 簡易測定キットを利用して、実験で得られたBDF中に残留している廃グリセリンの量を測定する。</p> <p>第12回 アルコールの回収 廃グリセリンから余分なアルコールを蒸留精製によって回収する。</p> <p>第13回 エコ石けん作り 廃食用油と水酸化ナトリウム水溶液を混合反応させエコ石けんを作る。</p> <p>第14週 日本における再生可能エネルギーの利活用 新エネルギーと再生可能エネルギーの利活用から見えてくる持続可能な社会に向けた展望や課題について学習する。</p> <p>第15週 レポート作成指導 レポート課題をまとめ、実習を通して理解したことや意義について考察する。このとき、大量生産・消費・廃棄におけるものづくりからリサイクル社会への移行、自然循環と循環型社会についての考察も加える。</p>
履修条件	特になし
成績評価の方法 評価基準	<p>[小テスト・レポート課題] 30% 実習の内容をよく理解しているかを評価する。</p> <p>[平常点・受講態度] 70% 実習に取り組む姿勢や態度、実験内容の理解を評価する。</p>
授業の進め方	<p>学食や附属学校園、大学病院などから廃食用油を回収する作業や学内に導入された装置でBDFを精製する作業を行う。ナタネやヒマワリの種子から食用油を作りだす搾油を体験したり、精製装置の使用電力量を測定してエネルギー使用量を調査する。このような環境実践教育を集中して行う。</p>
参考図書	坂志朗 編著者 『バイオディーゼルのすべて』アイピーシー

7 その他全般的事項

<生命環境学部 地域社会システム学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
『地域計画学』のシラバス(別紙ウ) 『地域経営論』のシラバス(別紙オ)	その他意見を踏まえ、『地域計画学』、『地域経営論』のシラバスの「授業計画の概要」及び「参考図書」を変更して、科目名称と内容の整合性を図った。(別紙エ『地域計画学』、別紙カ『地域経営論』)

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学委員会及び学部委員会を設置している。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会(別紙1:「山梨大学全学教育FD委員会規程」) Eラーニング・プロジェクト(別紙2:「山梨大学教育企画評価委員会規程」)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会(別紙3:「山梨大学大学院総合研究部生命環境学域各種委員会内規」)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>生命環境学部所属教員が参加した委員会は以下のとおりである。</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会 2回(平成26年9月8日開催、平成26年11月26日開催)(生命環境学部委員2名)</p> <p>Eラーニング・プロジェクト 2回(平成26年5月14日開催、10月28日開催) (生命環境学部委員2名)</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会 4回開催(平成26年4月24日開催、6月5日開催、10月16日開催、平成27年3月19日開催)(委員7名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会・・・FD活動の企画案について Eラーニング・プロジェクト委員会・・・e-ラーニング講習、Moodle活用について</p> <p>〔生命環境学部〕FD委員会・・・年度実施計画、FD研修会、授業の振り返りシート等について</p>

実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会
- ・授業評価アンケート

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(生命環境学部FD研修会、各学科FD研修会)

〔地域社会システム学科〕

- ・学科FD研究会(情報交換・意見交換)

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(年2~4回実施)(主催:全学教育FD委員会、形式:講義形式、場所:メディア館多目的ホール)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(年2~3回実施)(主催: E-ラーニング・プロジェクト、形式:講義形式、場所:情報メディア館)
- ・授業評価アンケート(前後期各1回実施)(主催:教育企画評価委員会)

〔生命環境学部〕

- ・生命環境学部FD研修会(年1~2回実施)(主催:生命環境学部FD委員会、形式:講演形式、場所:S1-11教室)

〔地域社会システム学科〕

- ・学科FD研修会(年2回実施)(形式:討議形式、場所:経済・経営演習室)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会(平成26年9月29日開催 56名参加、12月11日開催 28名参加、平成27年3月3日開催 54名参加)
- ・e-ラーニング(Moodle)講習会(平成26年5月27日開催 13名参加、12月12日開催 28名参加、平成27年1月21日開催 13名参加)
- ・授業評価アンケート(学生に対して前後期各1回、授業評価アンケートの実施)

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会(平成26年7月30日開催「本学部学生の実像を共有し、その指導、支援を考える」50名参加)

〔地域社会システム学科〕

- ・学科FD研修会(平成26年9月22日開催16名参加、12月4日開催16名参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状の課題等に関し、教員間で情報交換、意見交換を行う。これにより、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施(平成26年度は7月と12月)

b 教員や学生への公開状況,方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開は実施しない。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成26年7月と平成27年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表した。

学部独自の授業アンケート「生命環境学部アンケート」を平成27年7月と平成28年1月に実施し、5段階評価項目の結果分布を学生に対して公表する予定。

(注)・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科の4学科構成で、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、地域社会の持続的な繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野をもち、地球規模の食料、環境問題などの解決に貢献できる実践的専門職業人を養成することを目指して、平成24年4月からこれまで教育課程を設置計画どおりに実施してきている。平成27年3月に専任教員2名が定年を迎えたため、AC教員審査を受け平成27年4月1日付けで教授1名と助教1名の採用人事、及び助教から准教授への昇任人事(2名)を行い、平成27年度においても設置計画どおりに教育課程できる体制を維持している。新入生対象のアンケート調査を毎年度実施しており、その結果を踏まえて、教育方法及び入試広報のあり方を検討している。平成26年度においても、学部FD研修会及び学科FD研修会を実施し、学部及び各学科が目指す「生命・食・環境・経営」に関する実践教育を実現するための授業内容及び方法の改善に努めている。平成27年度は、いわゆる完成年度となり、設置の趣旨を具現化し目標達成へ向けた取り組みを粛々と進めており、平成28年3月には、最初の卒業生を社会に送り出すこととなる。現在、就職支援を行うとともに、大学院修士課程の設置準備を進めている。以上のことから、本学部の4年目の状況としては順調に進捗していると考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年5月末 公表予定

(自己点検・評価は、平成27年度内に終了予定とし、その結果を公表する)

b 公表方法

・生命環境学部ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成26年度に機関別認証評価を受審し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を得た。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年9月1日公表予定)

変更前

授業科目名	地域計画学		
担当教員名	大山 勲		
科目区分：専門発展科目	対象学生：2年	開講学期：後期	単位数：2単位
授業の到達目標	<p>1) わが国の地域計画の歴史と思想を理解する。</p> <p>2) わが国の地域計画のうち法定として運用されている各種計画制度（都市計画法、建築基準法、景観緑三法、農地法、自然環境保全法等）に関する法令と公共事業の内容を理解する。</p> <p>3) 地域計画において人と人の共生（市民行政協働やコミュニティ主体の活動）や自然や人の共生（自然環境や防災を踏まえた計画）の考え方を理解する</p> <p>4) 身近な地域の特徴を把握し課題を見いだすことができる。</p>		
授業の概要	<p>本講義で扱う「地域」とは、都市から農山漁村までを含み、さらに国土全体から身近な生活空間までを含む。そして、その地域における様々な開発や自然環境保全および地域で展開される産業・経済・社会・文化等の諸活動の活性化と持続のための計画制度の基礎を学ぶ。さらに、地域の持続と活性化を進めるためには現行の計画制度には限界があることを理解し、それを改善するための合意形成の重要性とその方法を理解する。これらを理解するために、まず計画の歴史、わが国の計画の体系、計画策定手法を学習した上で、各計画制度の内容と課題を学習する。</p>		
授業の方法	講義		
授業計画の概要	<p>第1回： 講義概要。都市と農村。D.I.D。都市化と反都市化。スプロール。限界集落。政令市。土地利用と基盤施設の計画全体像。国土法体系と国土の土地利用計画。国土利用計画と5地域、国土総合開発。都市計画法、農振法、森林法、自然公園法。</p> <p>第2回： 居住環境づくりの歴史と思想。古代都市、ギリシア都市国家、ローマの発展史、中世都市、産業革命と都市問題。</p> <p>第3回： 居住環境づくりの歴史と思想。田園都市論、近隣住区理論、機能主義とその反省。</p> <p>第4回： わが国の居住環境づくりの歴史と思想。日本の中世・近世都市と地域、近代都市計画制度のはじまり、戦災・震災と復興。近代都市計画の理念。</p> <p>第5回： わが国の都市・農村計画の概要と体系。総合計画、都市計画マスタープラン、緑マス等の個別計画。都市計画区域。計画白地。集団規定、既存不適格。計画・規制・事業。計画過程。</p> <p>第6回： 法定都市計画の規制。線引きと非線引き、開発許可制度、地域制、形態規制、用途規制。敷地規模。</p>		

	<p>第7回： 歴史的背景の異なる居住環境の調査レポートの発表とディスカッション。地域を把握する、国の統計調査、地方自治体の基礎調査、市町村史。</p> <p>第8回： 規制の手法。用途地域、特別用途地区、特定用途制限地域、重要伝統的建造物群保存地区、緑地保全地域、特別緑地保全地区、緑化地域、生産緑地地区、法定都市計画以外の規制（農振農用地、保安林、国立公園 等）</p> <p>第9回： 事業の手法。都市施設、市街地開発事業、区画整理。補助事業、PFI。</p> <p>第10回： 地区計画制度、集落地区計画、海外とわが国の地区計画の比較。</p> <p>第11回： 農村地域の土地利用調整計画。要綱、自主条例、委任条例。景観訴訟、景観法。</p> <p>第12回： 農村計画。集落、農地、里山と森林保全、農業水利、農業基盤整備、耕作放棄地問題、過疎地問題</p> <p>第13回： 新しい地域づくり。コンパクトシティ、防災まちづくり、地域資源を活かす、市民行政協働まちづくり、縦覧、憲章 29 条</p> <p>第14回： 計画事例調査のレポート発表とディスカッション。</p> <p>第15回： 総括</p>
履修条件	特になし。
成績評価の方法 評価基準	<p>[試験：期末期] 30%</p> <p>[レポート課題] 70%</p> <p>1) 現地の把握のレポート（現地を見てその空間の量的・質的特徴を把握し、課題を発見する）30%。評価基準：現地把握の適切さ。</p> <p>2) 自治体等の地域計画の事例のレポートとその発表 40%。評価基準：計画内容の理解度、口頭発表の適切さ。</p>
授業の進め方	講義による。毎回の講義の終了時にリアクションペーパーの作成・提出による講義の理解度の確認。講義と質問による相互の意見交換により、理解度を確認。スライド（PPT）や資料配付による理解の補助。
参考図書	<p>加藤晃他（2006）都市計画概論、共立出版</p> <p>三船康道、新里達也（2004）都市及び地方計画・建設環境、オーム社</p> <p>脇田祥尚（2009）みんなの都市計画、理工図書</p> <p>都市計画教育研究会（2001）都市計画教科書第三版、彰国社</p>

変更後

授業科目名	地域計画学		
担当教員名	大 山 勲		
科目区分：専門発展科目	対象学生： 2年	開講学期：後期	単位数：2単位
授業の到達目標	<p>1) わが国の地域計画の歴史と思想を理解する。</p> <p>2) わが国の地域計画のうち法定として運用されている各種計画制度（都市計画法、建築基準法、景観緑三法、農地法、自然環境保全法等）に関する法令と公共事業の内容を理解する。</p> <p>3) 地域計画において人と人の共生（市民行政協働やコミュニティ主体の活動）や自然や人の共生（自然環境や防災を踏まえた計画）の考え方を理解する</p> <p>4) 身近な地域の特徴を把握し課題を見いだすことができる。</p>		
授業の概要	<p>本講義で扱う「地域」とは、都市から農山漁村までを含み、さらに国土全体から身近な生活空間までを含む。そして、その地域における様々な開発や自然環境保全および地域で展開される産業・経済・社会・文化等の諸活動の活性化と持続のための計画制度の基礎を学ぶ。さらに、地域の持続と活性化を進めるためには現行の計画制度には限界があることを理解し、それを改善するための合意形成の重要性とその方法を理解する。これらを理解するために、まず計画の歴史、わが国の計画の体系、計画策定手法を学習した上で、各計画制度の内容と課題を学習する。</p>		
授業の方法	講義		
授業計画の概要	<p>第1回：講義概要、地域の課題、国土計画 都市と農村。D.I.D. 都市化と反都市化。スプロール。限界集落。政令市。土地利用と基盤施設の計画全体像。国土法体系と国土の土地利用計画。国土利用計画と5地域、国土総合開発。都市計画法、農振法、森林法、自然公園法。</p> <p>第2回：居住環境づくりの歴史と思想1： <u>集落の発生・形成、古代文明、ギリシア文明、ローマ文明、中世文明、文明を支えた農業革命</u></p> <p>第3回：居住環境づくりの歴史と思想2 <u>産業革命と居住環境変化、田園都市論、近隣住区理論、森林保全から国土保全へ、機能主義とその反省。</u></p> <p>第4回：わが国の居住環境づくりの歴史と思想 <u>中世から近世・近代の地域、近代の計画制度のはじまり、戦災・震災と復興。近代都市計画の理念。</u></p> <p>第5回：わが国の都市・農村計画の概要と体系 <u>総合計画、都市・農山漁村地域の基本計画・活性化計画、緑マス等の個別計画、都市計画区域、計画白地、集団規定・既存不適格、計画・規制・事業。</u></p> <p>第6回：法的なコントロール手法1 <u>要綱・自主条例・委任条例、農山漁村地域の土地利用調整計画とまちづくり条例、形態と用途の規制、敷地規模、開発許可制度、法定都市計画の規制・線引きと非線引き・地域制。</u></p> <p>第7回：歴史的背景の異なる居住環境の調査レポートの発表とディスカッション</p>		

	<p>地域を把握する、国の統計調査、地方自治体の基礎調査、市町村史。</p> <p>第8回：<u>法的なコントロール手法2</u> 農振農用地、保安林、国立公園、用途地域、特別用途地区、特定用途制限地域、重要伝統的建造物群保存地区、緑地保全地域、特別緑地保全地区、緑化地域、生産緑地地区等。</p> <p>第9回：<u>実現化の手法</u> 補助金・交付金、PFI、農山漁村の振興、森林・林業の整備保全、都市施設、市街地開発事業、耕地整理・土地区画整理。</p> <p>第10回：<u>地区レベルの計画</u> 地区計画制度、集落地区計画、海外とわが国の計画体系の比較。</p> <p>第11回：<u>地域資源の活用と地域持続</u> 景観法、景観計画、景観を契機とした住民行政協働のまちづくり</p> <p>第12回：<u>農山漁村地域の計画</u> 集落、農地、里山・里海と森林・海洋保全、農業水利、農業基盤整備、耕作放棄地問題、過疎地と限界集落の問題と解決努力。</p> <p>第13回：<u>協働による新しい地域づくり</u> コンパクトシティと農地再生、合意形成、コミュニティの形成、地域資源を活かす、CSRと森林農地保全活用、市民行政協働まちづくり、縦覧、憲章 29 条</p> <p>第14回：<u>総括1</u> 計画事例調査のレポート発表とディスカッション。</p> <p>第15回：<u>総括2</u> 期末試験と授業総括・ディスカッション</p>
履修条件	特になし。
成績評価の方法 評価基準	<p>[試験：期末期] 30%</p> <p>[レポート課題] 70%</p> <p>1) 現地の把握のレポート(現地を見てその空間の量的・質的特徴を把握し、課題を発見する) 30%。評価基準：現地把握の適切さ。</p> <p>2) 自治体等の地域計画の事例のレポートとその発表 40%。評価基準：計画内容の理解度、口頭発表の適切さ。</p>
授業の進め方	講義による。毎回の講義の終了時にリアクションペーパーの作成・提出による講義の理解度の確認。講義と質問による相互の意見交換により、理解度を確認。スライド(PPT)や資料配付による理解の補助。
参考図書	<p>林直樹他(2010) 撤退の農村計画、学芸出版社</p> <p>野田公夫ほか(2011) 里山・遊休農地を生かす、農文協</p> <p>結城登美雄(2009) 地元学からの出発、農文協</p> <p>久隆浩(2011) 都市・まちづくり学入門、学芸出版社</p> <p>三船康道、新里達也(2004) 都市及び地方計画・建設環境、オーム社</p> <p>脇田祥尚(2009) みんなの都市計画、理工図書</p> <p>加藤晃他(2006) 都市計画概論、共立出版</p> <p>都市計画教育研究会(2001) 都市計画教科書第三版、彰国社</p>

変更前

授業科目名	地域経営論		
担当教員名	北村 眞一		
科目区分：専門発展科目	対象学生：3年	開講学期：前期	単位数：2単位
授業の到達目標	<p>1) 地域資源の保全と活用による豊かな生活と経済を目指す地域経営の理論と方法を理解する。</p> <p>2) 地域の抱える課題と解決策を、種々の事例を通じて理解する。「計画 実施 評価 修正」の計画過程、および「目的 手段 評価 意志決定」の計画策定過程の理論を理解する。</p>		
授業の概要	<p>人間と自然、人間と人間の共生及び地域社会経営の視点から、地域資源の保全と活用における課題と解決策を学習する。具体的にはⅠ.人間と自然の共生および生産機能の視点から、(1)文明の発達と自然との調和及び資源開発の理解(2)自然環境と土地利用・施設整備の調和の理解、そしてⅡ.人間と人間の共生としての行政・市民の協働と合意形成の視点から、(3)問題の発見と解決方法の理解(4)地域経営の方法の理解など、地域経営の事例を学習する。</p>		
授業の方法	講義		
授業計画の概要	<p>第1回： 講義概要。文明論。農耕と都市文明の発生、文明と環境、人類の進化と世界への拡散、農耕の発達、古代都市文明の形成。自然概念の変遷。文明の盛衰。</p> <p>第2回： 地域の気象。地球温暖化説。ヒートアイランド対策の風の道と都市気候管理。</p> <p>第3回： 都市と自然の調和。都市と緑地空間、都市地域から農業・自然地域、エコロジカル・ネットワーク、ピオトープの計画事例。</p> <p>第4回： 自然環境価値論。自然環境の保全と活用。自然公園制度と農山村経営。</p> <p>第5回： 流域と河川計画。河川法と治水・利水・環境対策の計画と具体例、水害防御計画、水資源計画、水辺環境保全計画。</p> <p>第6回： 水辺空間。河川・用廃水路のエコデザイン。河川と砂防の護岸のデザイン。親水と環境デザイン。貯水池・ダム。</p> <p>第7回： 土地資源の保全と利用。土地の循環利用。地価の種類、不動産評価と土地資源評価、土地利用規制。土地価格の変動、土地利用による価格差。</p> <p>第8回： 人工物と遺産・文化価値。名所論。都市田園名所の成立と継承。地域のブランド化。</p> <p>第9回： 人工物・廃棄物。エコ・デザイン。資源の循環利用デザイン。省エネ・省資源型空間施設およびプロダクトデザイン。</p>		

	<p>第 10 回： 計画理論。地域経営の概念。P D C A サイクルと計画過程。計画組織。計画要素。制約条件。計画目標。計画理念。計画のモード。</p> <p>第 11 回： 地域経営計画作成の学習。ケーススタディのための現地での調査・視察・ヒアリングの実施。課題の整理、目標設定、代替案の作成と評価。</p> <p>第 12 回： 都市経営の理論と事例（横浜市等）、地方都市経営の事例（川越等）、農山村経営の事例（早川町等）</p> <p>第 13 回： 地域経営論。まち・むらづくりの住民参加。住民主体開発の事例（小布施町、湯布院町等）</p> <p>第 14 回： 創造都市論。市民・創造性・都市基盤（ポローニア等）、文化開発、ミュージアムまちづくり（金沢等）</p> <p>第 15 回： 地域経営の観点から地域や地区の開発整備事例調査や行政へのヒアリングを行い、報告、発表と講評を行う。</p>
履修条件	「地域計画学」を履修しておくことが望ましい。
成績評価の方法 評価基準	<p>地域経営の事例レポート課題とその発表により評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 課題の把握の正確さ、ヒアリングの妥当性 2) 計画の論理性と体系の完成度 3) 発表の適切性
授業の進め方	<p>講義と討論により進める。</p> <p>液晶プロジェクター、スライド、B D などの映像媒体を利用する。</p> <p>毎回の講義の終了時にリアクションペーパーの作成・提出による講義の理解度を確認する。</p>
参考図書	<p>日本建築学会編（2004）地域環境デザインと継承、彰国社</p> <p>三船康道、新里達也（2004）都市及び地方計画・建設環境、オーム社</p> <p>編集委員会（1989）土木工学ハンドブック、技報堂</p> <p>都市計画教育研究会（2001）都市計画教科書第三版、彰国社</p> <p>安田喜憲ほか編（2008）講座 文明と環境（全 15 巻）朝倉書店</p> <p>花岡 利幸(2006) 地域計画 実践・地方都市のまちづくり、技報堂</p>

変更後

授業科目名	地域経営論		
担当教員名	北村 眞一		
科目区分：専門発展科目	対象学生：3年	開講学期：前期	単位数：2単位
授業の到達目標	<p>1) 地域資源の保全と活用による豊かな生活と経済を目指す地域経営の理論と方法を理解する。</p> <p>2) 地域の抱える課題と解決策を、種々の事例を通じて理解する。「計画 実施 評価 修正」の計画過程、および「目的 手段 評価 意志決定」の計画策定過程の理論を理解する。</p>		
授業の概要	<p>人間と自然、人間と人間の共生及び地域社会経営の視点から、地域資源の保全と活用における課題と解決策を学習する。具体的にはⅠ.人間と自然の共生および生産機能の視点から、(1)文明の発達と自然との調和及び資源開発の理解(2)自然環境と土地利用・施設整備の調和の理解、そしてⅡ.人間と人間としての行政・市民の協働と合意形成の視点から、(3)問題の発見と解決方法の理解(4)地域経営の方法の理解など、地域経営の事例を学習する。</p>		
授業の方法	講義		
授業計画の概要	<p>第1回： 講義概要。文明論。農耕と都市及び農村の文明の発生、文明と環境、人類の進化と世界への拡散、農耕の発達、古代都市及び農村の文明の形成。自然概念の変遷。文明の盛衰。</p> <p>第2回： 地域の気象。地球温暖化説。ヒートアイランド対策の風の道と都市及び農山漁村地域の気候管理。</p> <p>第3回： 都市や農山漁村集落など人工物と自然の調和。都市及び農山漁村と緑地空間、都市地域から農業・自然地域、エコロジカル・ネットワーク、ビオトープの計画事例。里山保全。森と海の関係。</p> <p>第4回： 自然環境価値論。自然環境の保全と活用。自然公園制度と農山村経営。</p> <p>第5回： 流域と河川計画。河川法と治水・利水・環境対策の計画と具体例、水害防御計画、水資源計画、水辺環境保全計画。水源林と森林保全。</p> <p>第6回： 水辺空間。河川・用廃水路のエコデザイン。河川と砂防の護岸のデザイン。親水と環境デザイン。貯水池・ダム。海岸保全。</p> <p>第7回： 土地資源の保全と利用。土地の循環利用。地価の種類、不動産評価と土地資源評価、土地利用規制。土地価格の変動、土地利用による価格差。</p> <p>第8回： 人工物と遺産・文化価値。名所論。都市及び農山漁村の名所の成立と継承。地域のブランド化、自然と食文化。</p>		

	<p>第9回： 人工物・廃棄物。エコ・デザイン。資源の循環利用デザイン。省エネ・省資源型空間施設およびプロダクトデザイン。</p> <p>第10回： 計画理論。地域経営の概念。P D C Aサイクルと計画過程。計画組織。計画要素。制約条件。計画目標。計画理念。計画のモード。</p> <p>第11回： 地域経営計画作成の学習。ケーススタディのための現地での調査・視察・ヒアリングの実施。課題の整理、目標設定、代替案の作成と評価。</p> <p>第12回： 都市経営の理論と事例（横浜市等）、地方都市経営の事例（川越等）、農山村経営の事例（早川町、馬路村、上勝町、広島県漁業体験等）</p> <p>第13回： 地域経営論。まち・むらづくりの住民参加。住民主体開発の事例（小布施町、湯布院町、四万十町、農産物直売所や6次産業化等）</p> <p>第14回： 創造都市論及び創造農村の文化開発。住民・創造性・都市及び農山村の基盤（ボローニア、北杜市の農村開発N P O等）、文化開発、ミュージアムまちづくり（金沢、穂高町と信州、八ヶ岳南麓等）</p> <p>第15回： 地域経営の観点から地域や地区の開発整備事例調査や行政へのヒアリングを行い、報告、発表と講評を行う。</p>
履修条件	「地域計画学」を履修しておくことが望ましい。
成績評価の方法 評価基準	<p>地域経営の事例レポート課題とその発表により評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 課題の把握の正確さ、ヒアリングの妥当性 2) 計画の論理性と体系の完成度 3) 発表の適切性
授業の進め方	<p>講義と討論により進める。</p> <p>液晶プロジェクター、スライド、B Dなどの映像媒体を利用する。</p> <p>毎回の講義の終了時にリアクションペーパーの作成・提出による講義の理解度を確認する。</p>
参考図書	<p>日本建築学会編（2004）地域環境デザインと継承、彰国社 三船康道、新里達也（2004）都市及び地方計画・建設環境、オーム社 編集委員会（1989）土木工学ハンドブック、技報堂 都市計画教育研究会（2001）都市計画教科書第三版、彰国社 安田喜憲ほか編（2008）講座 文明と環境（全15巻）朝倉書店 花岡 利幸（2006）地域計画 実践・地方都市のまちづくり、技報堂 生源寺眞一（2011）日本農業の真実、筑摩書房 谷野陽（1995）国土と農村の計画、農林統計協会 矢内諭（2008）自立・交流する中山間地域、昭和堂 大野晃（2008）限界集落と地域再生、京都新聞出版センター</p>